

令和 7 年度
公益財団法人神戸市民文化振興財団
事業概要

文化スポーツ局

目 次

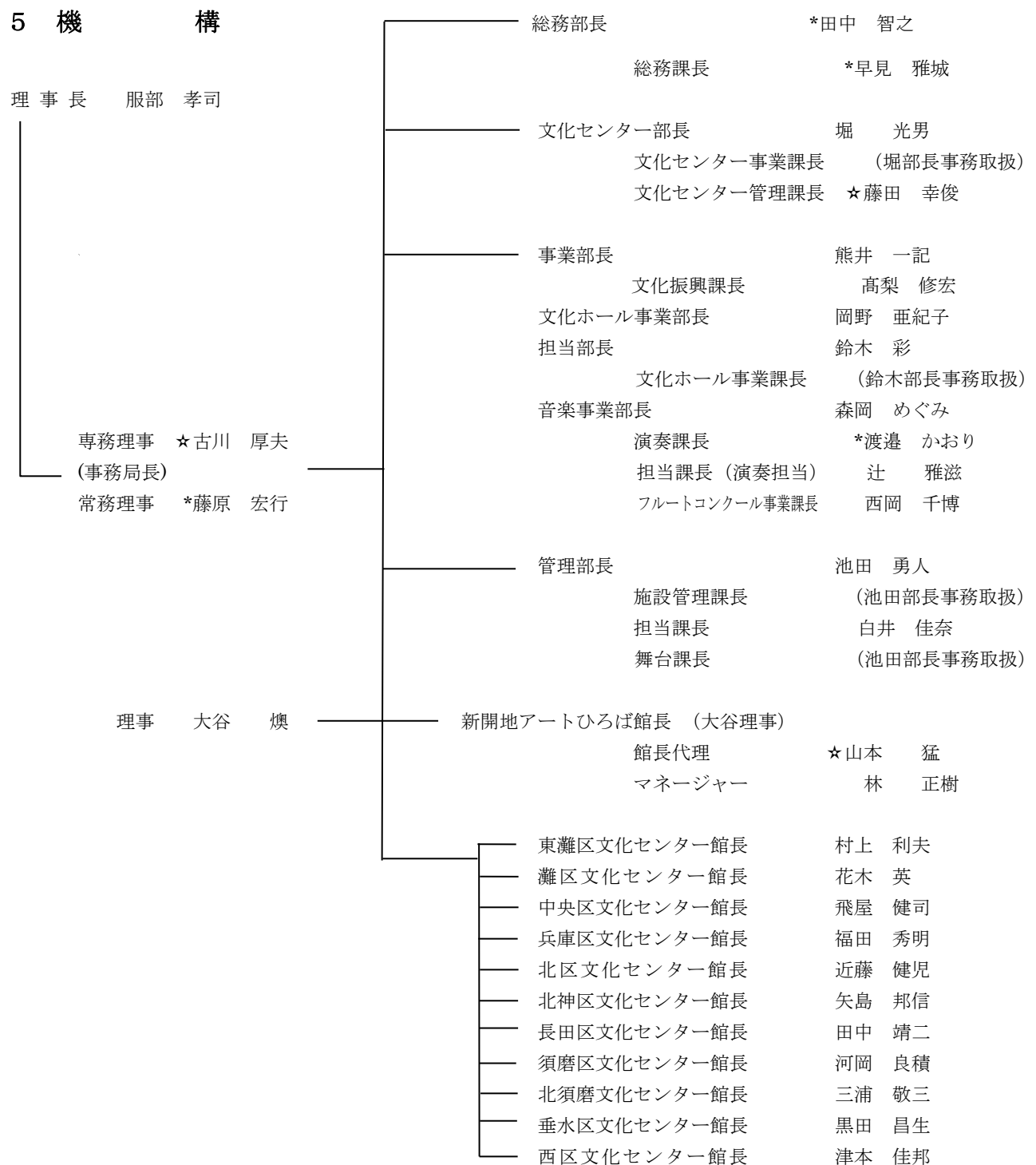
I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	2
2	設 立 年 月 日	2
3	所 在 地	2
4	基 本 財 産	2
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	令和 6 年度事業報告	
1	概 要	11
2	事業の実施状況	15
3	令和 6 年度決算	
(1)	事業別収支計算書	39
(2)	正味財産増減計算書	40
(3)	貸借対照表	41
(4)	財産目録	42
(5)	事業別収入明細書	43
(6)	事業別支出明細書	44
(7)	財務状況の推移	45
V	令和 7 年度事業計画	
1	概 要	46
2	事業計画	49
3	経営改善の取り組み	66
4	令和 7 年度予算	
(1)	事業別収支予算書	69
(2)	予定正味財産増減計算書	70
(3)	予定貸借対照表	71
(4)	事業別予定収入明細書	72
(5)	事業別予定支出明細書	73
VI	令和 6 年度主要事業計画・実績比較表	74
VII	主要事業の推移(令和 2 年度～令和 6 年度)	75

I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

Ⅱ 神戸市民文化振興財団の概要

1 名 称	公益財団法人 神戸市民文化振興財団
2 設 立 年 月 日	設立許可 昭和 57 年 10 月 1 日 設立登記 昭和 57 年 10 月 1 日 公益財団法人移行登記 平成 24 年 4 月 1 日
3 所 在 地	神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号
4 基 本 財 産	216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）



(注) *は市派遣職員、☆は市退職職員

6 職 員 数

(令和7年7月1日現在)

所 属	部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
総 務 部	1 (1)	1 (1)	10	12 (2)
文化センター部	1	1	6	8
事 業 部	4	4 (1)	19	27 (1)
管 理 部	1	1	9	11
新 開 地 ア ー ト ひ ろ ば	1	1	10	12
東 灘 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
灘 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
中 央 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
兵 庫 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
北 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
北 神 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
長 田 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
須 磨 区 文 化 セ ン タ ー	1		1	2
北 須 磨 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
垂 水 区 文 化 セ ン タ ー	1			1
西 区 文 化 セ ン タ ー	1		2	3
合 計	19 (1)	8 (2)	71 (0)	98 (3)

※ () は、人数のうち、神戸市派遣職員数。

7 役 員 等

(1) 評議員

(令和7年7月1日現在)

役 職 名	氏 名	所 属
評 議 員	井 上 和 世	声楽家
評 議 員	小 野 愛 子	一般社団法人神戸市婦人団体協議会会長
評 議 員	神 原 忠 明	一般社団法人神戸経済同友会代表幹事
評 議 員	佐 藤 友 美 子	学校法人追手門学院理事
評 議 員	玉 岡 か お る	作家
評 議 員	福 田 和 代	日本放送協会神戸放送局長
評 議 員	三 重 野 雅 文	神戸市文化スポーツ局長
評 議 員	矢 崎 和 彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評 議 員	山 本 裕 之	神戸親和大学名誉教授

(2) 理事・監事

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	服 部 孝 司	
専 務 理 事	古 川 厚 夫	
常 務 理 事	藤 原 宏 行	(神戸市文化スポーツ局 部長)
理 事	伊 藤 紀 美 子	田嶋株式会社代表取締役社長
理 事	大 谷 燾	特定非営利活動法人DANCE BOX代表
理 事	木 田 聖 子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理 事	谷 口 賢 行	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
理 事	道 満 雅 彦	オリバーソース株式会社代表取締役社長
理 事	藤 野 一 夫	神戸大学大学院国際文化学研究科名誉教授 兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学名誉教授
理 事	宮 本 慶 子	神戸芸術文化会議議長
理 事	や な ぎ み わ	現代美術作家
監 事	清 水 好 央	税理士
監 事	中 嶋 展 也	弁護士

Ⅲ 定 款

公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
 - (2) 市民の国際文化交流の促進
 - (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
 - (4) 文化施設の管理運営
 - (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
 - (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第23条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（平成19年内閣府令第68号）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会（以下「委員会」という。）において行う。

2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。

3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。

(1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人

(2) 過去に前号に規定する者となったことがある者

(3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）

4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

(1) 当該候補者の経歴

(2) 当該候補者を候補者とした理由

(3) 当該候補者とこの法人及び役員等（理事、監事及び評議員）との関係

(4) 当該候補者の兼職状況

6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。

8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。

(1) 当該候補者が補欠の評議員である旨

(2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名

(3) 同一の評議員（2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位

9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。

10 委員が委員会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる委員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の委員会の決議があったものとみなす。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第20条 理事が評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第21条 理事が評議員の全員に対して評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第22条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

第6章 役員

(役員の設置)

第23条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 8名以上12名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。

4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。）上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第28条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第29条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第30条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 理事長の相談に応じること

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

第7章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
 - (2) 理事の職務の執行の監督
 - (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職
- (招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第35条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知した場合は、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第3項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第38条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）

第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」

という。) 第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生
井 上 和 世
大 谷 幸 正
加 藤 隆 久
下 村 俊 子
妹 尾 美智子
津 村 正 男
長 崎 泰 裕
新 野 幸次郎
板 東 慧
湯 浅 叡 子

4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦
山 上 正 輝
榊 原 均
植 松 奎 二
栗 原 慶 子
藤 野 一 夫
難 波 裕 子
山 田 弘

5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央
水 嶋 輝 雄

附 則

1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この定款は、令和4年10月14日から施行する。

別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

IV 令和6年度事業報告

1 概 要

令和7年1月に震災から30年を迎え、震災30年関連事業を通じて市民とともに震災の記憶を共有し、未来への継承を行った。また、『神戸文化ホール開館50周年記念事業』の2年目として、神戸市混声合唱団・神戸市室内管弦楽団の総力を結集したオペラ「ファルスタッフ」をはじめ、多様な芸術活動の発展に取り組んだ。そのような中、神戸文化ホールが文化による地域づくりに貢献したこと等が高く評価され、地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞した。

【主な事業内容】

（1）震災30年関連事業

＜阪神・淡路大震災30年メモリアルコンサート＞

阪神・淡路大震災への追悼と、未来へ記憶をつなぐ思いを込め、令和7年1月17日東灘区文化センターうはらホールにて、神戸市混声合唱団による追悼コンサートを開催し、震災から30年の節目となる日に、祈りのハーモニーを捧げた。

＜歌で語り継ぐ震災 ～1.17を知らない私から君へ～＞

震災の経験や教訓を分かち合い、防災意識を高めるきっかけとなることを願い、令和7年1月18日に中央区文化センターにて講演・合唱イベントを開催した。

立見席が出るほど多くの方に参加いただく中、「しあわせ運べるように」を作词作曲した神戸親和大学の臼井真准教授に講演や神戸高等学校による合唱、大学生アカペラグループによる演奏を行った。



（2）地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞

神戸文化ホールにおいて、財団によるプロデュース公演や両楽団の活動など、長年にわたるこれまでの取り組みを評価いただき、（一財）地域創造より、令和6年度地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞した。

＜審査委員会の評価コメント＞

“文化のホームグラウンド”として尽力

吹奏楽やダンスなど学校や市民の文化活動の拠点となり、全国洋舞コンクールの会場としても親しまれてきた神戸の文化振興のシンボル。演劇・ダンスのプロデュース公演のほか、ホール専属の室内管弦楽団と混声合唱団を有し、定期演奏会、地域コンサート、アウトリーチなどを意欲的に展開。また、国際フルートコンクールにも取り組み、50年の長きにわたり文化による地域づくりに貢献した。

(3) フルートコンクール事業

ア 第11回神戸国際フルートコンクール

世界三大フルートコンクールのひとつと評される「第11回神戸国際フルートコンクール」を令和7年8月29日～9月7日に神戸文化ホールで開催する。本コンクールは次世代を担うアーティストの発掘・育成に加え、神戸から世界に向けた更なる音楽文化の振興、国際交流の推進をめざして4年ごとに開催しており、世界の第一線で活躍するフルート奏者を数多く輩出するコンクールとして高い評価を得ている。

令和6年度は開催準備年として、予備審査（動画審査）を行い、過去2番目に多い357名（41か国・地域）の応募者の中から、40名の出場者を決定した。



イ 神戸国際フルートコンクール関連事業 2024

～フルーティストのための音楽交流プログラムトレーニング～

医療・福祉分野と連携した社会包摂アウトリーチを令和7年1月21日から24日に実施した。音楽や表現を楽しむ機会の充実と、社会と多様な関わり方ができるフルーティストの育成をめざし、医療・福祉施設での音楽プログラム実施に向けたトレーニングを行った。講師には英国で高齢者や地域コミュニティを対象に音楽交流プログラムを行っている、フルート奏者・音楽療法士のアミーナ・フサインを招聘した。

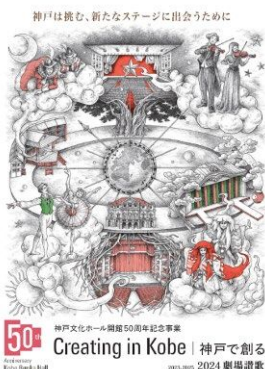
実践であるアウトリーチは、神戸市立湊翔楠中学校の特別支援学級と特別養護老人ホーム長田すみれ園（デイサービス利用者）を対象に行った。



(4) 神戸文化ホール開館50周年記念事業

昭和48年10月に開館した神戸文化ホールは、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎え、50年間神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。これからも個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年より『神戸文化ホール開館50周年記念事業 Creating in Kobe | 神戸で創る』を3年間に渡り実施していく。

【令和6年度（2024年度）テーマ 劇場讃歌】



5月18日（土）	「コッペリア～お人形の恋の物語～」
7月13日（土）	「クレイジーキャメル」
9月11日（水）	「十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業」
12月21日（土）	「ファルスタッフ」
2月1日（土）	「リビングルームのメタモルフォーシス」
・2日（日）	

< 貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ「コッペリア～お人形の恋の物語～」 >

クラシックバレエの人気作「コッペリア」を、幼児・児童、初めてバレエを鑑賞する方、長時間の鑑賞が難しい方など、年齢や障がいを越えて誰もが楽しめるような様々な鑑賞サポートを用意して上演した。舞台芸術のアクセシビリティ支援の専門団体の助言を得て、物語の進行役の俳優に合わせた手話の同時通訳を実施したほか、0歳児から入場可能として、会場内が暗くなりすぎないように配慮をするなど、幅広い鑑賞者に向けた施策を行った。



< 大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」 >



世界にBUTOHの名を広め、ダンスシーンに衝撃を与え続けている磨赤兒が率いる大駱駝艦が、神戸文化ホールでの初公演から5年ぶりに登場した。「クレイジーキャメル」は少年少女の淡い恋心を、ヴィヴァルディの「四季」に乗せて黄金の舞踏手たちが紡ぐ物語。公演に先駆けて実施した取材会にはマスコミ8社が来場するなど、事前の広報活動も活発に行った。

なお、磨はその後、神戸六甲ミーツ・アート 2024 の開幕公演にも出演し、神戸のアートシーンに鮮やかな印象を残すこととなった。

< 十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業 >

令和4年10月から約2年の歳月をかけて日本各地を巡業する歌舞伎界の一大行事が、その掉尾(ちょうび)を飾る直前に、神戸文化ホールで襲名披露公演を行った。

10月26日には、鑑賞の裾野を広げるための関連企画として、あすてっぷ KOBE で「歌舞伎にみるキモノのおしゃれ～歌舞伎と楽しむ着物談義～」と題したトークイベントを実施し、「着物」「ファッション」といった親しみやすい切り口から歌舞伎の魅力を紹介した。



< ヴェルディ：オペラ「ファルスタッフ」 >

両楽団の総力を結集し、ヴェルディのオペラ「ファルスタッフ」を上演した。50周年事業のテーマ「神戸で創る Creating in Kobe」にふさわしく、企画・立案・稽古・本番までの全工程を神戸で完結させ、指揮は混声合唱団音楽監督の佐藤正浩、演出は神戸市出身の岩田達宗、キャストは、両楽団の団員と団出身者を中心とし、日本を代表する歌手も客演に迎えた。



また、オペラ公演のほか、カバーキャストによるレクチャー形式ハイライト上演や舞台見学ワークショップ、解説講座、中央区文化センター・スポーツイベントを活用したまちなかコンサート、地元物産マルシェなど、まち全体で盛り上げるために様々な関連企画を実施し、劇場内に留まらない取り組みを展開した。

本公演は、大阪・関西万博の機運醸成のため各国の領事等を招待し、国際色豊かな雰囲気のもと、満員御礼の盛況となり、加えて各紙の批評で取り上げられるなど、高い評価を獲得した。

<リビングループのメタモルフォーシス>

令和5年（2023年）ウィーン芸術週間からの委嘱を受け、世界的に注目される演出家・岡田利規と作曲家・藤倉大が初のコラボレーションにより創作した作品を上演した（日本初演作品として、東京、神戸、愛知で上演）。演劇と音楽を舞台上に並置し、現代社会に切り込むフィクショナルな空間を創出した。神戸公演では神戸市室内管弦楽団が演奏を担当し、文化庁「子供無料招待事業」として実施。来場者の約1/3が青少年とその親世代で、アンケート回答者の約1/3が初来館者、97%が「また来たい」と回答した。神戸新聞にも好意的な公演評が掲載され、地域の芸術団体との連携や観客層の拡大といった点で意義深い成果を挙げた。



（5）KOBE まちなかパフォーマンス支援制度

神戸市では、アーティストの活動機会を創出し、市民が文化芸術やエンターテインメントに気軽に触れられる場を提供するとともに、まちの魅力向上を図ることを目的として、令和6年度から新たな制度を開始した。

三宮や地下鉄沿線エリアなど、市が設定した公認会場において、登録アーティストが自主的かつ日常的にパフォーマンス活動を行える仕組みを導入した。当財団は運営事務局として、試行期間を経て7月から本格運用を開始しており、登録アーティスト49組の予約調整・連絡、公認会場の追加に向けた調整を実施することで、活動機会と活動場所の充実につなげた。



2 事業の実施状況

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・3ヵ年計画による開館50周年記念事業（令和5～7年度）を中心に、市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開 【創造発信・情報事業】
- ・普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成 【普及啓発・交流事業】
- ・全国の劇場や教育機関と連携して芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

イ 事業内容

(ア) 創造発信・情報事業

神戸文化ホール開館50周年記念事業の中核として、チェルフィッチュ×藤倉大『リビングルームのメタモルフォーシス』を日本初演として上演。また、神戸では5年ぶりの登場となる舞踏集団・大駱駝艦が、代表作『クレイジーキャメル』を上演。身体表現の極致ともいえる舞台により、舞踏芸術の魅力を伝えた。

情報誌「ほーるめいと」は、年6回発行を継続し、コラムや読み物ページを強化。市民との接点を広げ、ホールの取り組みや魅力を多角的に伝えるツールとしての機能を拡充した。

(イ) 普及啓発・交流事業

新たな取り組みとして、貞松・浜田バレエ団との共同制作によるバレエ『コッペリア』を、インクルーシブの理念に基づいて実施。

「こどもコブホ2024」シリーズでは、アートに親しむフェスティバル型事業「ウェルカムジヤンボリー2024」を開催。大倉山公園と連動した屋外との一体的な会場構成で、演劇と音楽のパフォーマンスが子どもや親子連れをホールへと呼び込んだ。

また、全国公共劇場との連携による音楽劇『死んだかいぞく』は、神戸出身の美術家・作家・下田昌克の絵本を原作に上演され、ほぼ満席の観客を集めた。

地域との交流面では、神戸芸術文化会議との協働企画として神戸文化ホール所有のベーゼンドルファーを活用した「ワンコインコンサート」を立ち上げた。



「死んだかいぞく」

(ウ) 育成・支援事業

全国公立文化施設協会と共催した「EPAD Re LIVE THEATER」では、舞台映像を活用した新たな観劇体験の創出に取り組み、4K 等身大舞台映像の試写会および上映環境改善に向けた意見交換会を実施した。

地域における次世代の担い手の育成と創造活動の持続可能性を高めるため、「アートマネジメント人材養成講座」を実施。令和6年度は、「劇場と文化政策」「多様な資金調達」等をテーマに全4回の講座を行い、実践的な知見の共有を図った。

また、芸術文化観光専門職大学（令和3年度開学）の学生4名を、インターンシップに迎えた。公演実施・調整業務に加え、演奏・コンクール部門、新開地アートひろばや市内外の文化施設など、多様な現場での研修機会を提供した。

文化庁事業である障害者による文化芸術活動推進事業も誘致し、障害者の表現支援に関する映像上映や報告会を通じて、インクルーシブな文化環境づくりに寄与した。

ウ 文化ホール公演事業実績

〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
創造発信・情報事業	5	8	5,606
普及啓発・交流事業	10	20	21,380
育成・支援事業	8	15	647
合 計	23	43	27,633

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	3	3	3,158	ファミリーショー1 合唱1 和太鼓1
舞 踊	4	6	5,744	バレエ2 現代舞踊1 舞踏1
演 劇	4	14	15,525	演劇1 音楽劇2 ミュージカル1
演 芸	1	2	1,055	落語1
その他	11	18	2,151	歌舞伎1 能1 その他9
合 計	23	43	27,633	

神戸芸術文化会議連携事業		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
ベーゼンドルファー・コンサート・シリーズ ランチタイム・ワンコインコンサート					
第1回		2/13	1	神戸文化ホール 中ホール	664
第2回		3/11	1	神戸文化ホール 中ホール	800
神 戸 芸 術 文 化 会 議 連 携 事 業 合 計			1事業2公演		1,464

文化ホール公演実績

事業名	日 付 (公演日)	公演数	会 場 (施設名)	入場者数 (人) (参加者数)
創造発信・情報事業	5事業8公演			5,606
大駱駝艦・天賦典式「クレイジーキャメル」	7/13	1	神戸文化ホール 中ホール	650
貞松・浜田バレエ団「創作リサイタル36」(2020年3月中止公演)	9/14～15	2	神戸文化ホール 中ホール	1,134
貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形」	12/14～15	2	神戸文化ホール 大ホール	3,127
ウィーン芸術週間委嘱作品 チェルフィツチュ×藤倉大 「リビングルームのメタモルフォーシス」	2/1～2	2	神戸文化ホール 中ホール	695
情報誌「ほーるめいと」	年6回発行	1		
普及啓発・交流事業	10事業20公演			21,380
劇団唐組第73回公演「泥人魚」	4/19～21	3	湊川公園 特設紅テント	765
こどもコブホ2024 貞松・浜田バレエ団 ファミリーバレエ 「コッペリア～お人形の恋の物語～」	5/18	1	神戸文化ホール 中ホール	883
こどもコブホ2024 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2024 コブホであそぼ!	6/22	1	神戸文化ホール 大ホール	1,066
こどもコブホ2024 音楽劇「死んだかいぞく」	8/17	1	神戸文化ホール 中ホール	799
十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業	9/11	1	神戸文化ホール 大ホール	1,082
第48回 東西落語名人選	9/21	2	神戸文化ホール 中ホール	1,055
和太鼓松村組 神戸公演2024	11/2	1	神戸文化ホール 大ホール	993
劇団四季こころの劇場 神戸公演 ミュージカル「ガンパの大冒険」	11/26～29	8	神戸文化ホール 大ホール	13,266
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/26	1	神戸文化ホール 大ホール	1,159
第十七回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	312
育成・支援事業	8事業15公演			647
全国公立文化施設協会近畿支部 特別研修会 EPAD Re LIVE THEATER	7/4	1	神戸文化ホール 中ホール	48
全国公立文化施設協会 全国劇場・音楽堂等職員 アートマネジメント研修会 サマーセミナー	9/10～11	2	中央区文化センター 多目的ホール	228
文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 シアターフォーオール 上映会・報告会	9/27	1	神戸文化ホール 中ホール	70
アートマネジメント人材養成講座 一般向け講座	9月～11月	4	中央区文化センター	157
アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	6月～2月	1	神戸文化ホール等	35
文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 シアターフォーオール 企画発表会	1/27	1	中央区文化センター 多目的ホール	25
芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習(劇場プロデュース実習)	夏季/冬季	2	神戸文化ホール等	4
神戸発演劇新作プロジェクト(令和7年度事業の前年度準備)	4月ほか	3	新開地アートひろば 等	80
神戸文化ホール事業合計	23事業43公演			27,633

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、音楽監督と両団の総力を結集した大曲や委嘱作品に取り組んだことや、神戸文化ホール開館 50 周年にちなんで神戸出身のソリスト・指揮者・作曲家に拘るなど、創造力あふれる企画発信を行った。神戸市室内管弦楽団は、令和 5 年度より日本オーケストラ連盟への加盟（準会員）が認められ、名実共に神戸を代表する楽団となった。

また、乳幼児や障害のある子供、その保護者らが気兼ねなく参加できるようバリアフリーに関する工夫を凝らした「こどもコンサート」を引き続き実施するなど、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかった。

(イ) 楽団の周知・魅力発信の取り組み

SNS（X、Facebook、Instagram）や動画配信により、積極的かつ効果的な広報に取り組み、着実にフォロワーを増やしている。また、マスコミや有識者への効果的な働きかけ、新聞・雑誌・オンライン記事掲載等による認知度・レピテーション向上に努めた。加えて、他ホール・演奏団体等からの依頼公演獲得のための営業活動を行った。更に、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、6 年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（6 年目）」に、地元の音楽家とも連携して取り組んだ。

令和 4 年 1 月から開始した神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の「定期会員制度」においては、制度開始時より登録件数を伸ばしており、令和 7 年 3 月時点で 111 席と、着実な顧客形成を進めている。



〈インリーチ事業〉

【令和 6 年度公演数・入場者数】

	自主公演	依頼公演	合計
公演数	24	86	110
入場者数	18,047	28,424	46,471

ウ 演奏事業実績

【自主公演】

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	4/13	神戸文化ホール（大）	573
	6/15	神戸文化ホール（大）	707
	9/14	神戸文化ホール（大）	487
	11/23	神戸文化ホール（大）	679
	3/15	神戸文化ホール（大）	371
	7/14, 21 8/2, 3	神戸文化ホール （練習室1・大ホール）	16
	7/13	ピフレホール	178
	3/1	うはらホール	270
	3/2	西神中央ホール	269
神戸市混声合唱団	11/16	神戸国際展示場1・2号館 （神戸マラソンEXP02024）	8,148
	5/11	神戸文化ホール（大）	374
	6/2	ピフレホール	282
	11/3	うはらホール	327
	11/17	神戸市立中央体育館	1,800
	1/17	うはらホール	273
	9/28 3/29	神戸文化ホール（大） 神戸文化ホール（大）	510 457
合同	8/3	神戸文化ホール（大）	579
	6/18 6/19	いぶき明生支援学校 灘さくら支援学校	200 130
	12/21	神戸文化ホール（大）	1,417
演奏事業合計			18,047

【依頼公演】

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	9	3,956
神戸市混声合唱団	39	10,510
合同	38	13,958
合計		28,424

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・くらしに芸術文化を根づかせる取り組み、次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じて神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行った。

また、神戸ジャズ 100 周年を機に、令和 5 年度より民間主体で企画運営しているまちなかでのジャズイベント「Kobe Jazz Centennial」の事務局機能を引き続き担い、ジャズの魅力発信・普及啓発に取り組んだ。



(イ) 情報収集・提供の充実

地元のアーティスト等を対象に、「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施。また、アーティスト向けのセミナーや、文化センターとの連携事業など、学びや交流機会の提供、新たな活動機会の創出を積極的に行った。

＜令和 6 年度実績＞

- ・相談件数 53 件、相談受信件数 643 件、メルマガ配信 14 回
- ・関連事業 勉強会 1 回、子ども向け事業 4 回、アート展示事業 3 回
ビジネス向けワークショップ事業 1 回

補助金・助成金情報	広報・後援等	活動拠点	事業計画	資金計画
19	15	17	15	10
教室・講座	パートナー探し	その他	合計	
14	4	6	100	

※1 件の相談につき相談内容が複数あるため、相談件数とは一致しない。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」、「洋舞コンクール」、「神戸からのしらべ」、「神劇まわり舞台」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行った。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

両楽団が行っている小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行った。また、「神戸市吹奏楽祭」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援。令和 6 年 11 月に神戸芸術文化会議と包括連携協定を締結し、「ワンコインコンサート」をはじめ、財団運営施設を活用した連携事業を行った。

ウ 文化振興事業実績

(単位：人)

事業名		開催時期	開催場所	入場者数
音楽	「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	SMBC神戸営業部前 他	1,385
	神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール	6,697
	全日本シャンソン・ポピュレールコンクール	神戸大会6/1 ※この他全国4ヶ所で 地区大会を開催	ピフレホール	570
		セミファイナル8/3	ピフレホール	
		ファイナル9/28	神戸文化ホール	
	神戸三曲協会演奏会等	6/9, 3/16	神戸文化ホール 他	670
	室内楽名曲シリーズ	10/27	神戸文化ホール	143
	神戸ジャズ道場(中止)	-	神戸セミナーハウス	0
	JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/23～8/25	神戸文化ホール	1,800
	神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/30, 10/13, 1/11	神戸文化ホール	2,274
	神戸ジャズストリート	10/12, 13	北野界限9会場	3,600
	Kobe Jazz Centennial	10/14	三宮・旧居留地周辺7会場	6,000
演劇 舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	1,253
	こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/6	神戸文化ホール	2,019
他	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会「企画整理とチラシデザインのコツ」	1/21	中央区文化センター	27
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「役者テクニックをスピーチに活かす」	11/22	中央区文化センター	16
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「深海ダンス図鑑 こどもワークショップ つくる！うごく！」	12/1	灘区文化センター	8
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「笑いによる健康体験講座『狂言ってなあに？』」	2/8	東灘区文化センター	16
	こうべ文化芸術相談窓口子どもワークショップ 「障がいがある人もない人も『親子でいろんな楽器を鳴らしてみよう』」	3/29	北神区文化センター	19
	こうべ文化芸術相談窓口 アート展示「C+Kobe」	2/5～2/20 2/27～3/13	中央区文化センター	270
	こうべ文化芸術相談窓口 さくらこおねえさんコンサート	4/29, 2/15	東灘区文化センター	382
	文化振興事業合計			27,149

④ フルートコンクール事業

ア 事業方針

- ・有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させる
- ・音楽を通じて国際交流と友好親善を図る
- ・「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進する

イ 事業内容

(ア) KOBE 国際音楽祭 2025 (プレイベント)

フルートコンクールを核とした KOBE 国際音楽祭 2025 を神戸市とともに開催する。

令和6年度は公式 HP や SNS の開設、企画調整などのほか、神戸ハーバーランドにて、第10回大会優勝のマリオ・ブルーノ氏と審査委員長の酒井秀明氏を迎え、大人数フルート演奏会を令和6年10月20日に開催した。



(イ) 第11回アジア・フルートコンGRESS神戸2024、 第5回アジア・フルートコンクール2024

令和6年8月10日(土)～12日(月・祝)、日本、中国、韓国を中心としたアジアのフルーティストたちによって創設されたアジア・フルート連盟による「アジア・フルートコンGRESS」を神戸文化ホールで共催事業として開催。ユ・ユアン氏、高木綾子氏といった過去大会の入賞者の他に、アジア各国から総勢約130名が出演。



ウ フルートコンクール事業実績

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
[共催事業]第11回 アジア・フルートコンGRESS神戸2024、第5回 アジア・フルートコンクール 神戸 2024	8月10-12日	神戸文化ホール中ホール 他	1,087
みんなで奏でるフルートオーケストラ スペースシアター in ハーバーランド	10月20日	神戸ハーバーランドスペースシアター	200
フルーティストのための音楽交流プログラムトレーニング	1月21-24日	神戸文化ホール練習室・市内福祉施設等	150
フルートコンクール事業合計			1,437

⑤ 情報発信

ア 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

両楽団について、幹部職員のネットワーク・SNS を活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に取り組んだ。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体として戦略的広報を更に進めた。

イ インターネットによる情報発信

また、X や Facebook、Instagram など多様な SNS を活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開した。(SNS フォロワー数：20,734 人)

ウ 「神戸C情報」の発信

神戸及びその近郊における文化芸術イベント等をウェブサイトや SNS で発信することで、文化芸術に関する情報のプラットフォーム形成を行った。令和6年度はウェブサイトの検索・閲覧性の向上や、認知度向上に向けた宣伝チラシを作成した。

エ 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能の強化を目的に、広報誌の発行および SNS や Web を活用した広報活動を実施した。

広報誌「ほーるめいと」については、神戸文化ホールで開催される自主事業および公演情報を隔月で発行した（年6回・各15,000部）。また、次年度に向けてさらに広報力を強化するためリニューアルの検討を行った（令和7年度発行号よりリニューアル）。

⑥ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

（ア）弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続実施した。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者のサポートを引き続き実施した。

（イ）施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに改善に努めた。

（ウ）文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続して実施した。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティの向上に努めた。

(エ) 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行った。

また、キャッシュレス決済や、ホールでのインターネット環境を整備、スマートゲートの導入により利便性の高いサービスと設備を提供した。

ウ 貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合 計
利用件数(件)		225	221	3,222	3,668
入場者数(人)		226,492	90,586	45,039	362,117
利用率 (%)	踏入率	80.3	84.4	95.3	
	実利用率	70.7	74.2	76.6	

① 神戸文化ホール利用状況表（自主事業を含む） ※収益事業を含む

令和6年4月1日～令和7年3月31日

		大ホール		中ホール		合 計	
部門	内 訳	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	96	60,735	55	24,334	151	85,069
	ポピュラー	8	12,447	6	3,089	14	15,536
	邦楽	5	3,546	8	2,742	13	6,288
	小 計	109	76,728	69	30,165	178	106,893
舞踊	舞踊等	23	18,941	51	17,864	74	36,805
演劇	演劇	9	11,167	33	13,198	42	24,365
	音楽劇	21	41,247	3	785	24	42,032
	小 計	30	52,414	36	13,983	66	66,397
演芸等	演芸・映画	18	25,902	19	9,828	37	35,730
大会行事等	大会・式典	8	6,256	17	7,747	25	14,003
	講演会・講習会	37	46,251	29	10,999	66	57,250
	小 計	45	52,507	46	18,746	91	71,253
そ の 他		0	0	0	0	0	0
合 計		225	226,492	221	90,586	446	317,078
利用率(%)		80.3		84.4		82.4	
前年度利用率(%)		82.9		83.8		83.4	

注) ・利用率は、「利用日数／利用可能日数」(大ホール 204／254、中ホール 211／250)

②神戸文化ホール練習場利用状況表 令和6年4月1日～令和7年3月31日

	合 計
利用件数(件)	3,222
利用者数(人)	45,039
利用率(%)	95.3
前年度利用率(%)	95.6

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化・施設活用事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施する。

様々なジャンルのアーティストを起用して事業を展開、幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントのほか、毎月ワークショップを実施し、地域の文化活動拠点を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」「てててパーク：月イチ」「はじめてのシルクスクリーン」
＜ニューあそび場の創造（年4回）＞

令和5年度に引き続き、施設全体を『あそび場』として捉え多彩なジャンルのアーティストと協働する「ニューあそび場の創造」事業を実施。当企画ではあそべる作品や空間をアーティストとともに創造し、体験から鑑賞まで様々な文化芸術に触れる機会を創出した。



「toRmansion 走れ☆星の王子メロス」

(イ) アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行う。長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とする。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」
＜Go!Go! High school Project＞

毎年夏休みの期間に、学校の枠を超えて出会った仲間と一本のお芝居を作り上げる高校生のための演劇ワークショップ。16回目を迎える令和6年度はナビゲーターにF0ペレイラ宏一朗（こういちろう）氏を迎えワークショップと成果発表公演を開催した。

(ウ) プログラム連携・ネットワーク構築事業

共催・提携事業の他、市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との連携プログラムの他、トライやるウィークや新開地周辺地域との連携プログラムの実施。

事業名：「音遊びの会 ドキュメンタリー映画上映会」「新開地舞踊歌劇団 in 六甲ミーツアート」
「劇団エクステ#5.5「ジャングル・ジャンクション」」「Marching KOBE」
「新開地土曜マルシェ」「新開地 夏まつり・冬まつり」「新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト」

ウ 新開地アートひろば事業実績

〈事業別〉

	事業数	入場者数（人）
創造発信・地域活性化・施設活用事業	6	17,139
アーティスト育成・支援事業	3	260
連携・ネットワーク・その他事業	6	9,215
合 計	15	26,614

公演実績

令和6年4月1日～令和7年3月31日

創造発信、地域活性化・施設活用事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
ニューあそび場の創造Vol.10「toRmansion 走れ☆星の王子メロス」	5月11日(土)～6月30日(日)	9,830
ニューあそび場の創造Vol.11「帰ってきたヨ新開地おばけひろば」	7月15日(月)～9月1日(日)	4,070
ニューあそび場の創造Vol.12 野原万里絵展「絵画になるまで」	11月3日(日・祝)～12/22(日)	1,352
ニューあそび場の創造Vol.13「音箱展」	2月1日(土)～2月16日(日)	1,498
てててパーク 月イチ企画	毎月実施	356
はじめてのシルクスクリーン【ワークショップ】	6月、9月、11月、3月	33
小計		17,139
アーティスト育成・支援事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
Go!Go!High schoolProject2024	8月	250
アーティストサポートプログラム(木藤純子)	5月	2
アーティストサポートプログラム(phono/graph)	3月28日(金)	8
小計		260
プログラム連携・ネットワーク構築事業・その他事業	開催時期	入場者数 (参加者数)
新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・新開地音楽祭	5月11日(土)	138
新開地土曜マルシェ・新開地夏・冬まつり	毎月第二土曜日	7,606
音遊びの会 ドキュメンタリー映画上映会	9月16日(月)	96
新開地舞踊歌劇団 in 六甲ミーツアート	10月5日(土)・6日(日)	1,000
新開地舞踊歌劇団 in 第51回神戸まつり「はっぴいひろば」	6月8日(土)	100
劇団エクステ#5.5「ジャングル・ジャンクション」	2月23日(日)・24(月・祝)	275
小計		9,215
合計		26,614

② 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報 PR に努めると共に、子ども向けのイベント情報ツールを活用し広報活動を実施した。

③ 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整え、利用者のニーズに応えることで、また利用したいと思える安心感・快適性を提供した。また、幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制の整備により、安全性の確保を行っている。

(イ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

シルクスクリーン工房では工房専門担当者を配置し、利用者サポートができる安定した工房運営を維持するとともに、引き続き利用率向上促進を行った。また、1階スペースの賑わいを施設全体の知名度向上に結び付け、新規利用客の獲得に取り組んだ。

(ウ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

来館者向け Free Wi-Fi の提供やキャッシュレス決済の導入により、施設利用の利便性を向上させた。また、職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献した。

ウ 新開地アートひろば利用状況表（自主事業含む）

令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (実利用率)	前年度 踏入(実利用率)
多機能ホール(ホール)	25,859	144 (385)	49.1% (43.8%)	54.0% (48.8%)
リハーサル室1	7,219	250 (448)	82.5% (49.3%)	78.1% (44.8%)
リハーサル室2	9,330	212 (380)	69.3% (41.4%)	66.5% (40.0%)
ギャラリー	13,887	223 (669)	74.1% (74.1%)	82.5% (82.5%)
アトリエ	529	92 (417)	93.9% (51.9%)	96.1% (44.5%)
スタジオ1	1,127	113 (161)	37.0% (17.6%)	35.7% (18.6%)
スタジオ2	1,434	178 (335)	60.1% (37.7%)	61.9% (34.4%)
スタジオ3	1,445	112 (233)	36.7% (25.4%)	27.4% (20.4%)
会議室1	4,655	147 (310)	48.1% (33.8%)	49.9% (37.5%)
会議室2	3,321	139 (286)	45.4% (31.2%)	41.3% (28.3%)
貸館合計	68,806	1,610 (3,624)	59.6% (40.6%)	59.3% (40.0%)
1room入場者数	119,364			
てててパーク	6,279			
総入場者数	194,449			

開館日数	306
------	-----

(3) 各区文化センター

① 文化センター講座・地域連携事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・伝統文化の継承、発展に伴う事業を増やす
- ・文化センター、神戸文化ホールが連携した事業を推進。

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座事業を、3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）で継続運営した。

(イ) 伝統文化の継承発展事業

<書の芸術祭>

書の面白さ、深さを「漢字」「仮名」「前衛」「てんこく」「こども書道」のブースにて体験のイベントや市内高校生書道部によるパフォーマンスを実施した。



<こども農村歌舞伎>

北区文化センターで長年実施の「農村歌舞伎」とは別に、公募した子供たちが稽古を重ね、西区文化センター大ホールで毎年9月に成果を披露した。



(ウ) 神戸文化ホールとの連携事業

全ての文化センターの共同事業として、各文化センターでベートーヴェンの第九のレッスンを積んだ市民公募の合唱団250名が神戸文化ホール大ホールで成果を発表する年末恒例のコンサートを平成27年（2015年）以来実施。今後も市民と神戸文化ホール及び文化センターをつなぐ事業として継続の方針。



ウ 講座等事業実績

講座実績

令和6年4月1日～令和7年3月31日

		東灘区 文化センター	灘区 文化センター	中央区 文化センター	兵庫区 文化センター	北区 文化センター	北神区 文化センター	長田区 文化センター	須磨区 文化センター	北須磨 文化センター	垂水区 文化センター	西区 文化センター	計
定例講座	講座数	287	418	－	330	353	456	376	259	389	369	570	3,807
	定員(人)	4,775	7,864	－	6,926	5,926	6,289	8,171	3,502	7,055	7,143	10,849	68,500
	応募者数(人)	4,156	6,514	－	4,655	3,620	5,320	6,253	2,557	4,673	6,327	8,328	52,403
	応募率	87.0%	82.8%	－	67.2%	61.1%	84.6%	76.5%	73.0%	66.2%	88.6%	76.8%	76.5%
	受講者数(人)	3,857	6,089	－	4,374	3,448	5,060	5,767	2,433	4,294	5,871	7,646	48,839
	受講率	80.8%	77.4%	－	63.2%	58.2%	80.5%	70.6%	69.5%	60.9%	82.2%	70.5%	71.3%
随時講座	講座数	8	12	5	6	25	19	25	32	21	9	20	182
	定員(人)	250	338	241	191	405	268	410	514	1,728	210	470	5,025
	受講者数(人)	225	260	186	131	170	189	228	231	827	174	416	3,037
	受講率	90.0%	76.9%	77.2%	68.6%	42.0%	70.5%	55.6%	44.9%	47.9%	82.9%	88.5%	60.4%
定例&随時講座 受講者数(人)		4,082	6,349	186	4,505	3,618	5,249	5,995	2,664	5,121	6,045	8,062	51,876
定例&随時講座 受講率		81.2%	77.4%	77.2%	63.3%	57.1%	80.1%	69.9%	66.3%	58.3%	82.2%	71.2%	70.6%
前年度の受講率		83.9%	76.6%	84.8%	66.0%	52.1%	77.3%	68.3%	71.2%	64.2%	82.3%	74.0%	71.2%

※中央区文化センターは定例講座実施対象外

イベント実績

		東灘区 文化セン ター	灘区 文化セン ター	中央区 文化セン ター	兵庫区 文化セン ター	北区 文化セン ター	北神区 文化セン ター	長田区 文化セン ター	須磨区 文化セン ター	北須磨 文化セン ター	垂水区 文化セン ター	西区 文化セン ター	センター 計	合同イベント	合 計
A 演奏会	回数	8	1	9	0	5	8	4	8	2	3	6	54	1	55
	来場者数	2,447	166	761	0	1,391	1,707	1,000	871	166	955	1,657	11,121	1,140	12,261
B 演劇・伝統芸 能	回数	2	0	2	0	3	0	2	3	0	0	6	18		18
	来場者数	630	0	340	0	281	0	121	269	0	0	696	2,337		2,337
C 発表会	回数	1	3	0	1	3	3	3	3	1	3	5	26		26
	来場者数	343	1,073	0	140	600	1,080	1,067	496	387	1,500	2,200	8,886		8,886
D その他	回数	4	6	11	2	4	3	8	2	2	3	7	52		52
	来場者数	7,184	588	816	60	276	717	367	160	442	247	2,866	13,723		13,723
合 計	回数	15	10	22	3	15	14	17	16	5	9	24	150	1	151
	来場者数	10,604	1,827	1,917	200	2,548	3,504	2,555	1,796	995	2,702	7,419	36,067	1,140	37,207

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

各区文化センターにおいて、令和4年度から新たにスタートした神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし 60 分以内の企画を引き続き実施した。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届けた。

ウ 令和6年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団実績（文化センター関連）

令和6年4月1日～令和7年3月31日

事業名		開催日	公演数	開催場所	入場者数（人）
室内	Selection Vol.5 『The WINDS!』	7/13	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	178
	Selection Vol.6 『プラハへの愛』	3/1, 3/2	2	①東灘区文化センター うはらホール ②西神中央ホール	3/1:270 3/2:269
混声	あなたに贈るコンサート 『神戸・兵庫ゆかりの歌』	6/2	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	282
	ファルスタッフ ～濃いキャラしかいない町～	11/3	1	東灘区文化センター うはらホール	327
	阪神・淡路大震災30年 メモリアルコンサート	1/17	1	東灘区文化センター うはらホール	273
合計					1,599

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「こうべ文化芸術相談窓口」や「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を企画実施した。

ウ 令和6年度文化振興事業実績（文化センター関連）

令和6年4月1日～令和7年3月31日

	事業名	開催時期	開催場所	入場者数（人）
1	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール（神戸大会）	6月1日	長田区文化センター別館 ビブレホール	143
2	全日本シャンソン・ポピュラーコンクール（セミファイナル）	8月3日	長田区文化センター別館 ビブレホール	160
3	SUMMER CONCERT	7月20日	中央区文化センター	450
4	NEW YEAR CONCERT	1月11日	中央区文化センター	108
5	神戸三曲協会独奏会	3月16日	東灘区文化センター うはらホール	220
6	こうべ文化芸術相談窓口 さくらこおねえさんの親子でミニコンサート	4月29日	東灘区文化センター	63
7	こうべ文化芸術相談窓口 勉強会「企画整理とチラシデザインのコツ」	9月8日	中央区文化センター	27
8	こうべ文化芸術相談窓口 役者テクニックをスピーチに活かす	11月22日	中央区文化センター	16
9	こうべ文化芸術相談窓口 「深海ダンス図鑑」こどもワークショップ つくる！うごく！	12月1日	灘区文化センター	8
10	こうべ文化芸術相談窓口 「笑い」による「健康」体験講座「狂言ってなあに？」	2月8日	東灘区文化センター	16
11	こうべ文化芸術相談窓口 さくらこおねえさんのファミリーコンサート	2月15日	東灘区文化センター うはらホール	319
12	こうべ文化芸術相談窓口 アート展示「C+Kobe」	2/5～2/20 2/27～3/13	中央区文化センター	270
13	こうべ文化芸術相談窓口 障がいがある人もない人も「親子でいろんな楽器を鳴らしてみよう」	3月29日	北神区文化センター	19
合計				1,819

④ 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的な活用に努めた。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポート等と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する貸館システム（あじさいネット）により利便性を向上させる

イ 事業内容

（ア）サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入、市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

（イ）地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

（ウ）積極的な貸館セールス

例：「文化センターだよりの発行」、「友の会」・ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

ウ 文化センター利用状況表

※利用率…実利用率

令和6年4月～令和7年3月

			東灘区文化センター	灘区文化センター	中央区文化センター	兵庫区文化センター	北区文化センター	北神区文化センター	長田区文化センター	別館 ヒルホール	須磨区文化センター	北須磨文化センター	垂水区文化センター	西区文化センター	合 計
貸室利用	(大会議室)	利用者数	64,095	31,589	27,147	－	20,638	21,581	27,921	45,508	8,210	3,164	38,438	15,321	303,612
		利用件数	553	755	601	－	315	357	315	423	314	203	365	688	4,889
		利用率(%)	67.1%	77.8%	63.1%	－	37.2%	42.5%	32.4%	48.1%	35.7%	29.1%	38.3%	80.2%	50.5%
	会議室	利用者数	67,900	46,270	175,451	55,337	39,841	67,210	49,228	22,951	30,307	9,373	76,642	57,010	697,520
		利用件数	3,523	3,276	12,718	3,736	2,900	3,757	3,712	1,296	2,440	1,245	5,050	4,500	48,153
		利用率(%)	60.6%	67.4%	60.4%	38.5%	50.4%	55.3%	43.1%	48.9%	41.6%	25.5%	57.7%	66.2%	52.6%
	特目室	利用者数	39,337	43,235	56,814	18,265	8,407	25,498	13,826	25,583	17,055	9,531	27,238	34,962	319,751
		利用件数	3,552	3,680	3,628	1,483	794	2,340	1,579	1,354	2,223	953	1,605	4,743	27,934
		利用率(%)	52.3%	42.4%	45.5%	30.6%	28.2%	40.1%	27.4%	40.3%	37.6%	19.5%	33.1%	61.4%	40.2%
	(ブール室)	利用者数	－	38,316	－	42,761	62,405	－	56,474	－	－	61,080	閉館	－	261,036
		利用件数	－	950	－	1,787	1,840	－	2876	－	－	1941		－	9394
		利用率(%)	－	98.8%	－	91.9%	92.6%	－	74.7%	－	－	92.7%		－	86.7%
	合 計	利用者数	171,332	159,410	259,412	116,363	131,291	114,289	147,449	94,042	55,572	83,148	142,318	107,293	1,581,919
		利用件数	7,628	8,661	16,947	7,006	5,849	6,454	8,482	3,073	4,977	4,342	7,020	9,931	90,370
		利用率(%)	56.8%	55.9%	56.5%	42.5%	51.3%	47.9%	44.2%	44.6%	39.3%	34.6%	48.3%	64.6%	49.8%
	前年同期	利用者数	178,512	165,212	216,474	113,483	112,736	90,301	160,115	91,016	57,408	91,135	143,775	129,367	1,549,534
		利用件数	7,479	8,900	15,574	7,039	6,812	6,244	7,879	3,145	4,819	4,429	7,094	10,199	89,613
		利用率(%)	54.6%	57.3%	51.3%	42.5%	54.2%	46.2%	40.4%	41.1%	38.0%	35.0%	48.6%	65.2%	48.4%

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など利用者へのサービス提供を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5・多目的室・特別控室	: 15 名～150 名
	自動販売機	: 7 台

【貸館利用件数】	大ホール	合計 225 件	うち収益 64 件
	中ホール	合計 221 件	うち収益 60 件

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめとした幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指した。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営行った。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ² 程度
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 3 台

【貸館利用件数】	合計	3,624 件	うち収益 117 件
----------	----	---------	------------

(3) 文化センター講座事業

美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例	講	座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
		自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

【定例講座件数】	合計	3,807 件	うち収益 1,015 件
----------	----	---------	--------------

(4) 文化センター貸館・管理事業

イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 34 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

【貸館利用件数】	合計	90,370 件	うち収益 21,114 件
----------	----	----------	---------------

法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用した。

職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的に開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和３年度から、経験豊富な人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「神戸六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施している。

（２）経営基盤の強化

事業部毎の独立採算・セグメント会計の観点から、経費の見直し、ICTの活用による業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得を行った。

平成３０年７月に地元経済界が立ち上げた「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を担うことで、経済界からの芸術文化事業への支援を促進した。

指定管理施設利用実績

1 神戸文化ホール

		令和 5 年度実績	令和 6 年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	82.9%	80.3%
	中ホール	83.8%	84.4%
利用率 (実利用率)	大ホール	73.8%	70.7%
	中ホール	74.2%	74.2%
利用者数	大中ホール	303,543 人	317,078 人
	練習室含む	344,787 人	362,117 人
利用者満足度		98%	98%
友の会 加入数	個人	501 人	389 人

2 新開地アートひろば

		令和 5 年度実績	令和 6 年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	54.0%	49.1%
	ギャラリー	82.5%	74.1%
利用率 (実利用率)	ホール	48.8%	43.8%
	ギャラリー	82.5%	74.1%
利用者数		172,578 人	194,449 人
利用者満足度		99%	99%

3 文化センター

		令和 5 年度実績	令和 6 年度実績
利用率 (踏入率)	全体	75.0%	75.0%
	うちホール	70.0%	70.0%
利用率 (実利用率)	全体	48.4%	49.8%
	うちホール	49.6%	50.5%
講座受講者数		51,114 人	51,876 人
利用者満足度		98%	98%

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	R 6 年度実績
（事業部） 令和 5 年度より企画・制作及び発信型事業 年 1 演目以上実施	達成 14 回
（事業部） 他館連携型の事業の企画・実施 年 1 回以上	達成 2 回
（事業部、管理部、新開地アートひろば、 文化センター部及び文化センター） 文化センター、新開地アートひろばで行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年 1 回以上	達成 1 回
（事業部） 相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の 70%以上	達成 利用者アンケート回答で「発展的な活動につながった」と回答 71.4%

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	R 6 年度実績
（事業部、管理部、新開地アートひろば、 文化センター部及び文化センター） 公演におけるバリアフリーへの工夫 自主 事業毎に 1 つ以上	達成 バレエ「コッペリア」での手話通訳、文化センター子供向けイベントでのベビーカー置き場の設置等
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 社会包摂型の自主事業 年に 1 回以上	達成 15 回（こどもコンサート関連事業含む）
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に 1 回以上	達成 9 回（こどもコンサート関連事業含む）
（総務課） C 情報フォロワー数 1 万人以上	未達成 3,693 人（令和 7 年 7 月時点）
（文化センター部及び文化センター） 各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年 3 回以上	達成 各文化センター年 3 回以上実施
（文化センター部及び文化センター） 講座参加者数 20% 増（対令和 3 年度比。講師主催講座含む。）	達成 20% 増

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	R 6 年度実績
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 市民ネットモニターアンケート「過去 1 年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上	未達成 75.2%
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に 5 回以上	達成 24 回
（事業部） 異分野との連携による事業の企画・実施 年 1 回以上	達成 4 回

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	R 6 年度実績
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） アートマネジメント人材養成事業への参加者 年 100 人以上	達成 190 人
（事業部、新開地アートひろば、文化センター部及び文化センター） 新たな市民を呼び込む事業数 年 30 回以上	達成 56 回
（文化センター部及び文化センター） 講座参加者数 20% 増（再掲）	達成 20% 増
（事業部文化ホール事業課及び演奏課） 市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に 1 回以上	達成 （例）インリーチ・アウトリーチ事業、こころの劇場等

【経営を安定化する】

KPI	R 6 年度実績
（全部署） 助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規 1 件以上増	達成 4 件
（総務部） 一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない	達成 R6 年度 27,209,586
（総務部） 財政・経理に関する職員研修 毎年度 1 回以上	達成 2 回
（総務部） 常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率 40% 以下	達成 19%

(1) 事業別収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
公益目的事業会計	2,263,532,358	公益目的事業会計	2,324,613,725
文化振興事業収入	43,210,610	文化振興事業支出	38,506,779
演奏事業関係収入	256,276,459	演奏事業関係支出	247,561,476
フルートコンクール事業収入	31,515,700	フルートコンクール事業支出	32,100,396
文化ホール公演事業収入	93,275,933	文化ホール公演事業支出	112,520,645
文化ホール貸館・管理事業収入	266,393,313	文化ホール貸館・管理事業支出	275,754,357
新開地アートひろば公演事業収入	11,369,323	新開地アートひろば公演事業支出	11,543,745
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	143,902,954	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	146,145,321
文化センター講座等事業収入	367,690,036	文化センター講座等事業支出	340,253,213
文化センター貸館・管理事業収入	998,197,532	文化センター貸館・管理事業支出	1,047,567,489
50周年事業収入	51,700,498	50周年事業支出	72,660,304
収益事業等会計	576,022,679	収益事業等会計	511,274,454
文化ホール貸館・管理事業収入	65,794,453	文化ホール貸館・管理事業支出	65,179,672
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	9,036,375	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	7,730,046
文化センター講座等事業収入	176,220,591	文化センター講座等事業支出	159,471,386
文化センター貸館・管理事業収入	324,971,260	文化センター貸館・管理事業支出	278,893,350
法人会計	98,837,593	法人会計	115,194,865
財団管理運営事業収入	98,837,593	財団管理運営事業支出	115,194,865
当期収入合計 (A)	2,938,392,630	当期支出合計 (B)	2,951,083,044
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 12,690,414

* 神戸市からの収入

(1) 補助金 381,191千円

(2) 受託料 1,309,139千円

(2) 正味財産増減計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	334,254	334,254
文化事業収益	475,605,869	176,220,591	0	651,826,460
管理受託収益	1,084,868,045	253,686,979	0	1,338,555,024
施設利用料金収益	385,127,696	146,114,745	0	531,242,441
受取補助金等	316,920,748	364	86,585,000	403,506,112
受取寄付金	1,010,000	0	0	1,010,000
受取利息	0	0	1,678	1,678
雑収益	0	0	11,916,661	11,916,661
経常収益計	2,263,532,358	576,022,679	98,837,593	2,938,392,630
(2) 経常費用				
事業費	2,324,613,725	511,274,454	0	2,835,888,179
管理費	0	0	108,669,158	108,669,158
経常費用計	2,324,613,725	511,274,454	108,669,158	2,944,557,337
当期経常増減額	△ 61,081,367	64,748,225	△ 9,831,565	△ 6,164,707
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	7	7
当期経常外増減額	0	0	△ 7	△ 7
他会計振替額	22,578,281	△ 22,578,281		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 38,503,086	42,169,944	△ 9,831,572	△ 6,164,714
法人税、住民税及び事業税	0	6,525,700	0	6,525,700
当期一般正味財産増減額	△ 38,503,086	35,644,244	△ 9,831,572	△ 12,690,414
一般正味財産期首残高	△ 3,818,457	255,302,485	△ 141,851,760	109,632,268
一般正味財産期末残高	△ 42,321,543	290,946,729	△ 151,683,332	96,941,854
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	196,181,543	255,302,485	△ 141,851,760	309,632,268
III 正味財産期末残高	157,678,457	290,946,729	△ 151,683,332	296,941,854

(3)貸借対照表

(令和7年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,827,717	未払金	312,212,421
預金	388,069,459	前受金	163,315,446
未収金	96,262,947	預り金	15,032,012
前払金	3,101,470	賞与引当金	11,951,769
預け金	26,000	流動負債合計	502,511,648
流動資産合計	491,287,593	2. 固定負債	
2. 固定資産		退職給付引当金	11,613,571
(1)基本財産		固定負債合計	11,613,571
投資有価証券	209,482,246	負債合計	514,125,219
預金	7,427,754		
基本財産合計	216,910,000		
(2)特定資産		III 正味財産の部	
退職給付引当資産	11,613,571	1. 指定正味財産	
特定費用準備資金	56,500,000	基本財産	200,000,000
特定資産合計	68,113,571	指定正味財産合計	200,000,000
(3)その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
什器備品	2,170,359	2. 一般正味財産	96,941,854
保証金	32,585,550	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
その他固定資産合計	34,755,909	(うち特定資産への充当額)	(56,500,000)
固定資産合計	319,779,480	正味財産合計	296,941,854
資産合計	811,067,073	負債及び正味財産合計	811,067,073

(4)財産目録

(令和7年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	3,827,717	神戸市精算金、未払法人税等	312,212,421
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか4行	386,616,429	文化ホール利用料等	163,315,446
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	1,213,030	自主事業入場料収入等	15,032,012
定期預金		賞与引当金	11,951,769
三井住友銀行	240,000	流動負債合計	502,511,648
未収金	96,262,947		
前払金	3,101,470		
預け金	26,000		
流動資産合計	491,287,593		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	11,613,571
投資有価証券		固定負債合計	11,613,571
地方債等	209,482,246		
普通預金	517,754		
定期預金	6,910,000		
基本財産合計	216,910,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	11,613,571		
特定費用準備資金	56,500,000		
特定資産合計	68,113,571		
(3) その他固定資産			
什器備品	2,170,359		
保証金	32,585,550		
その他固定資産合計	34,755,909		
固定資産合計	319,779,480		
		負債合計	514,125,219
資産合計	811,067,073	差引正味財産	296,941,854

(5) 事業別収入明細書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,263,532,358	475,605,869	1,084,868,045	295,276,000	21,644,748	385,127,696	1,010,000	0
文化振興事業収入	43,210,610	14,743,610	0	28,465,000	0	0	2,000	0
演奏事業収入	256,276,459	45,236,459	0	198,069,000	12,967,000	0	4,000	0
フルートコンクール事業収入	31,515,700	4,160,777	0	27,182,000	172,923	0	0	0
文化ホール公演事業収入	93,275,933	28,191,558	51,503,298	10,060,000	3,517,077	0	4,000	0
文化ホール貸館・管理事業収入	266,393,313	0	131,178,897	0	0	135,214,416	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	11,369,323	1,369,323	10,000,000	0	0	0	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	143,902,954	0	130,900,323	0	0	13,002,631	0	0
文化センター講座等事業収入	367,690,036	365,681,144	0	0	2,008,892	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	998,197,532	0	761,285,527	0	1,356	236,910,649	0	0
50周年事業収入	51,700,498	16,222,998	0	31,500,000	2,977,500	0	1,000,000	0
収益事業等会計	576,022,679	176,220,591	253,686,979	0	364	146,114,745	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	65,794,453	0	33,871,150	0	0	31,923,303	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	9,036,375	0	8,352,026	0	0	684,349	0	0
文化センター講座等事業収入	176,220,591	176,220,591	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	324,971,260	0	211,463,803	0	364	113,507,093	0	0
法人会計	98,837,593	0	0	85,915,000	670,000	0	0	12,252,593
管理運営事業収入	98,837,593	0	0	85,915,000	670,000	0	0	12,252,593
合 計	2,938,392,630	651,826,460	1,338,555,024	381,191,000	22,315,112	531,242,441	1,010,000	12,252,593

(6) 事業別支出明細書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日, 単位: 円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,324,613,725	362,339,268	1,962,274,457
文化振興事業支出	38,506,779	23,469,257	15,037,522
演奏事業関係支出	247,561,476	57,080,477	190,480,999
フルートコンクール事業支出	32,100,396	16,001,428	16,098,968
文化ホール関係支出	388,275,002	67,955,147	320,319,855
新開地アートひろば関係支出	157,689,066	55,303,794	102,385,272
文化センター関係支出	1,387,820,702	142,529,165	1,245,291,537
50周年事業	72,660,304	0	72,660,304
収益事業等会計	511,274,454	52,319,691	458,954,763
文化ホール関係支出	65,179,672	7,974,024	57,205,648
新開地アートひろば関係支出	7,730,046	2,910,725	4,819,321
文化センター関係支出	438,364,736	41,434,942	396,929,794
法人会計	115,194,865	66,207,142	48,987,723
管理費等支出	115,194,865	66,207,142	48,987,723
合 計	2,951,083,044	480,866,101	2,470,216,943

(7) 財務状況の推移

(単位：千円)

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	5 → 6増減
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	▲ 36,384	36,821	▲ 6,164	▲ 42,985
		経常収益	2,848,801	2,897,541	2,938,393	40,852
		うち公益	1,920,062	2,124,698	2,263,532	138,834
		うち公益以外	928,739	772,843	674,861	▲ 97,982
		経常費用	2,885,185	2,860,720	2,944,557	83,837
		うち事業費（公益）	1,954,004	2,133,134	2,324,614	191,480
		うち事業費（公益以外）	778,095	648,007	511,274	▲ 136,733
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	153,086	79,579	108,669	29,090
		評価損益等	0	0	0	0
		当期経常外増減額	▲ 10	▲ 1,062	0	1,062
		経常外収益	0	0	0	0
		経常外費用	10	1,062	0	▲ 1,062
		法人税、住民税及び事業税	880	2,064	6,526	4,462
		当期一般正味財産増減額	▲ 37,273	33,694	▲ 12,690	▲ 46,384
		一般正味財産期首残高	113,211	75,938	109,632	33,694
		一般正味財産期末残高	75,938	109,632	96,942	▲ 12,690
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
		指定正味財産増加額	0	0	0	0
		指定正味財産減少額	0	0	0	0
		うち一般正味財産への振替額	0	0	0	0
		指定正味財産期首残高	200,000	200,000	200,000	0
		指定正味財産期末残高	200,000	200,000	200,000	0
正味財産期首残高		313,211	275,938	309,632	33,694	
当期正味財産増減	▲ 37,273	33,694	▲ 12,690	▲ 46,384		
正味財産期末残高	275,938	309,632	296,942	▲ 12,690		
貸借対照表（B／S）	資産合計	810,042	765,395	811,067	45,672	
	流動資産	502,359	405,705	491,288	85,583	
	固定資産	307,683	359,690	319,779	▲ 39,911	
	うち建物	0	0	0	0	
	負債合計	534,104	455,763	514,125	58,362	
	流動負債	525,361	445,805	502,512	56,707	
	うち短期借入金	50,000	0	0	0	
	固定負債	8,743	9,958	11,614	1,656	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	275,938	309,632	296,942	▲ 12,690	
	指定正味財産	200,000	200,000	200,000	0	
	一般正味財産	75,938	109,632	96,942	▲ 12,690	

V 令和7年度事業計画

1 概 要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

(1) KOBE 国際音楽祭 2025



「第11回神戸国際フルートコンクール」を核とした音楽祭を、7月12日から9月14日の間に神戸市・日本フルート協会と共に開催する。世界的なアーティスト、新進気鋭の注目の奏者、地元神戸の演奏家、そして神戸国際フルートコンクールに出場するフルーティスト、地元の中高生や音楽団体なども参加する。公立・民間の枠を超えた神戸中の劇場、街中など神戸のいたるところで、約200の公演を予定する大規模な音楽祭となる。当財団では、世界的な奏者や日本を代表する奏者、気鋭のアーティストによる質の高い公演企画や、社会包摂企画、神戸国際フルートコンクールに関連する企画を実施する。

<エマニュエル・パユ プロデュース KOBE 国際音楽祭 2025 オープニング・コンサート >

世界の音色が集う神戸オリジナルのプロジェクト。神戸国際フルートコンクール第2回の優勝者で、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者であり、世界トップクラスのソリストとしての人気を誇るエマニュエル・パユを迎える。共演は神戸市室内管弦楽団。これまでのコンクール日本人入賞者の演奏を紹介するコーナーを設けるなど、パユ自身の神戸国際フルートコンクールへの想いと心づくしが光る企画。



（２）第 11 回神戸国際フルートコンクール

41 の国と地域から 357 名の申し込みがあり、予備審査を通過した 40 名の若き才能溢れる出場者が神戸文化ホールに集う。357 名の応募はこれまで 40 年の歴史の中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でフルオンライン開催となった第 10 回大会に次ぐ過去 2 番目の応募数、現地開催大会の中では過去最多であった。

コンクールは 8 月 29 日から 9 月 7 日の間、神戸文化ホールで開催される。



（３）神戸文化ホール開館 50 周年記念事業

昭和 48 年 10 月に開館した神戸文化ホールは、令和 5 年に開館 50 周年という大きな節目の年を迎え、50 年間、神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。これからも、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和 5 年度より『神戸文化ホール開館 50 周年記念事業』を 3 年間に渡り行っている。



【令和 7 年度（2025 年度）テーマ 人間讃歌】

6 / 21 (土)	ウェルカムジャンボリー2025
7 / 5 (土)	ダンス公演 ポスト舞踏派「魔笛」
8 / 2 (土)・3 (日)	めにみえない みみにしたい
11 / 15 (土)	ベートーヴェン・ダブルビル
	合同定期演奏会「ミサ・ソレムニス」
11 / 16 (日)	ベートーヴェン・ダブルビル
	室内管弦楽団 第 170 回定期「第九」
2 / 14 (土)・15 (日)	流々転々 KOBE1942-1946

<ダンス公演 ポスト舞踏派「魔笛」>

舞踏家の笠井叡と現代日本のダンスシーン最前線で活躍する島地保武、辻本知彦、森山未来らが日本独自の進化を遂げてきた舞踏の新しい形を探るダンス公演。



＜めにみえない みみにしたい＞

音楽や文学、ファッションなど、多様なジャンルの観客やクリエイターから支持を集める演劇作家・藤田貴大が、初めて取り組んだ、子どもから大人まで楽しむ演劇『めにみえない みみにしたい』。初演以来、全国 28 都市で延べ 8,000 人超を動員した話題作。



＜ベートーヴェン・ダブルビル＞

令和 3 年のヘンデル《メサイア》、令和 5 年のハイドン《天地創造》に続く鈴木秀美と両団の大型企画として、50 周年記念事業としてふさわしいベートーヴェンの二大傑作《ミサ・ソレムニス》と《第九》を二日連続で披露する。「ホール・プロ楽団・プロ合唱団」を有する神戸の特色を最大限に活用し、鈴木秀美が信頼するソリスト陣とともに大作に挑む。



＜流々転々 KOBE1942-1946＞

本作は、俳人 西東三鬼の短編集『神戸・続神戸』（新潮文庫刊）を原作として、第二次大戦下、神戸中心部の坂道トアロードに存在した国際ホテルを舞台に、そこに集う個性溢れる人々による人間ドラマ。

演出は、独自の身体表現を用いてスタイリッシュな作品を生み出す小野寺修二（カンパニーデラシネラ）。出演陣には、テレビや映画でも大活躍の鈴木浩介と、宝塚歌劇団在籍中からも唯一無二の存在感を発揮する美弥るりかを中心に、関西を拠点に活躍する若手俳優やダンサーが集結。



2 事業計画

公益目的事業

(1) 文化ホール

① 文化ホール公演事業

ア 事業方針

- ・3ヵ年計画による開館50周年記念事業（令和5～7年度）を中心に、市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開 【創造発信・情報事業】
- ・普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成 【普及啓発・交流事業】
- ・全国の劇場や教育機関と連携して芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

イ 事業内容

(ア) 創造発信・情報事業

最終年となる神戸文化ホール開館50周年記念事業の掉尾として、プロデュース公演の新作演劇『流々転々(るるてんてん) KOBE1942-1946』を上演するほか、前年度の大駱駝艦に続く舞踏公演「ポスト舞踏派「魔笛」」を上演。また、年6回発行する情報誌「ほーるめいと」は5年ぶりとなる誌面のリニューアルを実施し、神戸文化ホールからの情報発信の強化に努める。

(イ) 普及啓発・交流事業

障がい者や高齢者と共にダンスを創るなどインクルーシブ（社会包摂）の考え方を積極的に採用した共催事業として、大阪・関西万博のオランダ王国公式プログラムのオランダ・日本共同インテグレイテッドダンス公演「UNUM」&「Iungo」を上演する。また、「こどもコブホ2025」シリーズとして、「ウェルカムジャンボリー」、「めにみえない みみにしたい」を上演し、子ども・青少年が優れた舞台芸術に親しむ機会を提供するほか、開館翌年の1974年から続く市内小学生の招待公演「こころの劇場」（出演：劇団四季）を実施し、新たな観客を育成するとともに神戸の子どもたちの心の豊かさの涵養に貢献する。

(ウ) 育成・支援事業

芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めるための取り組みとして、専門人材を講師に招く「アートマネジメント人材養成講座」を全3回のシリーズとして開講するとともに、神戸近郊の大学や専門職大学等の学生インターンを臨地実習として受け入れる。また、全国公立文化施設協会の舞台映像上映試行事業を誘致し、新たな観客との出会い作りに取り組むほか、映像表現に関するノウハウの蓄積などホールスタッフの機能向上にも努める。

ウ 令和7年度文化ホール公演事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信・情報事業	5事業6公演1企画			5,531
ダンス公演 ポスト舞踏派「魔笛」	7/5	1	神戸文化ホール 中ホール	731
バレエ カンパニー ウェスト ジャパン	11/9	1	神戸文化ホール 中ホール	600
貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形」 お菓子の国Ver. & お伽の国Ver.	12/20～21	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
新作演劇『流々転々 KOBE1942-1946』	2/14～15	2	神戸文化ホール 中ホール	1,200
情報誌「ほーるめいと」	年6回発行 予定			
普及啓発・交流事業	10事業22公演2企画			19,923
劇団唐組第75回公演「紙芝居の絵の町で」	4/18～20	3	湊川公園 特設紅テント	714
大阪・関西万博 オランダ王国公式プログラム オランダ・日本共同インテグレイテッドダンス公演 「UNUM」 & 「Iungo」	5/24・5/25	2	神戸文化ホール 中ホール	579
こどもコブホ2025 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2025 連携イベント	5月下旬	1	こども本の森 神戸	64
こどもコブホ2025 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2025	6/21	1	神戸文化ホール 大ホールほか	1,566
こどもコブホ2025 「めにみえない みみにしたい」 & ワークショップ	8/2～3 7月下旬	3	神戸文化ホール 中ホール、新開地 アートひろば	500
第49回 東西落語名人選	9/27	2	神戸文化ホール 中ホール	1,200
和太鼓松村組 神戸公演2025	10/25	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
劇団四季こころの劇場 神戸公演	12/2～5	8	神戸文化ホール 大ホール	12,000
SING' N' PRAY KOBE PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/17・1/18	2	神戸文化ホール 大ホール、中ホール	1,200
第十八回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	600
育成・支援事業	3事業2公演5企画			784
全国公立文化施設協会 事業環境部会 EPAD Re LIVE THEATER in KOBE	11/29	2	神戸文化ホール 中ホール	600
アートマネジメント人材養成講座 アートマネジメント講座	9月～11月	3	中央区文化センター	150
アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	6月～2月		神戸文化ホール等	30
芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習（劇場プロデュース実習）	夏季／冬季		神戸文化ホール等	4
神戸文化ホール事業合計	18事業30公演8企画			26,238

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

イ 事業内容

(ア) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

当財団が全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを超えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

(イ) 楽団の周知・魅力発信の取り組み

次代を担う子ども達に対する音楽鑑賞機会の提供のため、市立小学校に通う児童を対象とした「インリーチ事業」「アウトリーチ事業」に引き続き取り組む。令和7年度からは新たに、インリーチ事業の公演会場として文化センター（令和7年度：ありまホール）を追加し、また、アウトリーチ事業に関しては、対象を市立特別支援学校に絞り、各学校への出張演奏を行う。



〈アウトリーチ事業〉

(ウ) 楽団周知・魅力発信の取り組み

令和4年1月から開始した神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。

また引き続き、効果的な広告出稿、SNSの発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開する。そのほか、他の施設・団体等からの公演依頼や企業支援の獲得等に積極的に取り組み、市内外問わずより幅広く認知され、愛される団の運営を目指す。

ウ 令和7年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧(神戸文化ホール関連)

【自主公演】

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
(50周年合同)	<ベートーヴェン・ダブルビル> 合同定期演奏会「ミサ・ソレムニス」	11/15	1	神戸文化ホール 大ホール	1,000
	<ベートーヴェン・ダブルビル> 神戸市室内管弦楽団 第170回定期演奏会「第九」	11/16	1	神戸文化ホール 大ホール	1,000
神戸市室内管弦楽団	第167回定期演奏会 「追憶のショスタコーヴィチ」	4/19	1	神戸文化ホール 大ホール	460
	第168回定期演奏会 「トルコ趣味はいかが？」	6/7	1	神戸文化ホール 大ホール	460
	第169回定期演奏会 「萌えたつブルックナー」	9/20	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第171回定期演奏会 「大いなる旅立ち」	3/7	1	神戸文化ホール 大ホール	500
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	5/17	1	神戸文化ホール 大ホール	343
	秋の定期演奏会 「人間の顔～戦後80年に捧ぐ」	9/14	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	春の定期演奏会 「尾高忠明の合唱」	3/14	1	神戸文化ホール 大ホール	500
合同	こどもコンサート	8/3	1	神戸文化ホール 大ホール	500
自主公演合計					5,763

【主な依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
合同	ろうきん 夏休みこどもコンサート	8/10・11	2	明石市民会館アワーズホール 西宮市フレンテホール	500
合同	特別支援学校アウトリーチ	9月～3月	6	市立特別支援学校	300
合同	文化ホールインリーチ事業	2/5・6	4	神戸文化ホール 大ホール	4,000
合同	文化センターインリーチ事業	2/13	2	北神区文化センター ありまホール	1,000
合同	ろうきんコンサート	2/22・23	2	神戸文化ホール 中ホール アクリエひめじ	1,000
依頼公演合計					6,800

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

イ 事業内容

(ア) 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行う。

また、神戸を代表するジャズイベント「神戸ジャズストリート」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」や神戸ジャズ 100 周年を機にスタートした「Kobe Jazz Centennial」を支援することで、ジャズの魅力発信・普及啓発をはかる。

(イ) 情報収集・提供の充実

地元のアーティスト等を対象に、「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施する。また、アーティスト向けのセミナーや、文化センターとの連携事業など、学びや交流機会の提供、新たな活動機会の創出につながる取り組みを積極的に行う。

(ウ) 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「シャンソン・ポピュレールコンクール」、「神戸三曲協会演奏会」等の事業を行う。

(エ) 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸芸術文化会議との連携により、文化ホールのワンコインコンサートや、長田区文化センターを活用した事業を行う。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

(オ) KOBE まちなかパフォーマンスの運営・推進

神戸市が令和 6 年度から開始した「KOBE まちなかパフォーマンス」の事務局として、アーティストの新たな活動機会と、市民が様々な文化芸術やエンターテインメントに気軽に触れられる機会の両方を創出し、まちの賑わいや魅力向上につなげていく。これらの取り組みを通じて、アーティスト情報の蓄積や会場管理者との関係性構築を図り、地域と連携したにぎわい創出に取り組める団体となることを目指す。

ウ 令和7年度文化振興課事業一覧（神戸文化ホール関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
こうべ文化芸術相談窓口 （アーティストからの相談対応）	通年	メールまたはオンライン	—
神戸ユースジャズオーケストラの運営 （「ジャズの街神戸」推進事業）	通年	100BANホール、ジーベックホールなど	—
KOBEJAZZDAY2025 旧居留地コンサート （「ジャズの街神戸」推進事業）	4/6	旧居留地三井住友銀行神戸営業部前	1,200
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール大ホール	6,000
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/5	神戸文化ホール大・中ホール	1,899
神戸三曲協会演奏会	6/8	神戸文化ホール中ホール	515
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/1, 10/26	神戸文化ホール大ホール	1,000
神戸ジャズ道場	7/31, 8/1	神戸セミナーハウス	102
兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会 兵庫県アンサンブルコンテスト神戸地区大会	7/26～28 12/26～27	神戸文化ホール大・中ホール	5,000
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/15～17	神戸文化ホール大ホール	2,000
KOBE JAZZ CENTENNIAL	10月中旬（予定）	三宮・居留地周辺	5,000
神戸ジャズストリート	10/11・12	北野町界隈10か所程度	3,000
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ	10/26	神戸文化ホール中ホール	300
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール （ファイナル）	12/6	神戸文化ホール中ホール	300
文化振興事業合計			27,516

④ フルートコンクール事業

ア 事業方針

- ・有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させる
- ・音楽を通じて国際交流と友好親善を図る
- ・「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進する

イ 事業内容

(ア) 第 11 回神戸国際フルートコンクール (再掲 P. 47 参照)

(イ) KOBE 国際音楽祭 (当財団企画メイン公演)

＜エマニュエル・パユ プロデュース KOBE 国際音楽祭 2025 オープニング・コンサート(再掲 P. 46 参照)＞

＜夏の昼下がりにコンサート 荘村清志(ギター)&工藤重典(フルート)デュオリサイタル＞

日本クラシック・ギター界を長く牽引してきたパイオニア荘村清志と、国際的に活躍を続けるフルーティスト工藤重典。息の合ったふたりによるトークを交えて存分にお楽しみいただくプログラム。西神中央ホールで平日午後開催。

＜テレマン室内オーケストラ J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲演奏会＞

1963 年に指揮者・延原武春が結成し、日本でバロック音楽演奏のトップランナーとして、60 年間活動してきた名オーケストラ。神戸市在住の延原武春は、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。バッハの名曲「ブランデンブルク協奏曲」を演奏。

＜音楽風刺劇 「オスペダレー」＞

神戸市出身のソプラノ歌手・鈴木美登里が率いる声楽アンサンブルのラ・フォンテヴェルデが 2023 年 9 月に東京で復刻・日本初演を行ったイタリア 17 世紀のコメディの関西初演。

＜発酵(はっこう)する古楽 ～柴田俊幸(フラウト・トラヴェルソ)&アンソニー・ロマニウク(鍵盤)ライブ～＞

神戸の酒蔵で音楽を「発酵」させる。柴田俊幸は、名門ヨーロッパ古楽アンサンブルで活躍するフルートの古楽器であるフラウト・トラヴェルソを操る気鋭の奏者で、世界的にも高い評価を得ている。

＜第 11 回神戸国際フルートコンクール スペシャルナイト・ガラ＞

審査員が総出演する豪華公演で神戸国際フルートコンクールならではの企画。

(ウ) 関連事業の開催

KOBE 国際音楽祭の開催に加え、令和 8 年 2 月 7 日には、第 6 回神戸国際フルートコンクールで入賞を果たした高木綾子氏のデビュー 25 周年記念リサイタルを開催する。また、令和 6 年度に実施した社会包摂事業(音楽交流プログラム)の発展企画も音楽祭の一環として実施する。

ウ KOBE 国際音楽祭 2025 フルートコンクール関連事業一覧（財団主催・共催）

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
[ブレ企画]第2回日本フルートフェスティバルin兵庫	7月6日(日)	1	神戸文化ホール(大)	300
エマニュエル・バユ プロデュース KOBE国際音楽祭 2025オープニング・コンサート	7月12日(土)	1	神戸文化ホール(大)	1,234
夏の昼下がりにコンサート 荘村清志(ギター)&工藤重典(フルート)デュオリサイタル	7月17日(木)	1	西神中央ホール	458
障がいのある子どもたちのためのコンサート	7月19日(土)	1	賀川記念館	20
テレマン室内オーケストラ J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲演奏会	7月19日(土)	1	神戸朝日ホール	459
音楽風刺劇 オスペダーレ(演奏会形式/イタリア語上演・字幕付き)	7月26日(土)	1	神戸新聞松方ホール	284
真夏の打楽器アンサンブル 神戸パーカッション・ギャラリー ～菅原淳アレンジ・コレクションvol.8～	8月11日(月)	1	神戸文化ホール(中)	500
発酵(はっこう)する古楽～柴田俊幸(フラウト・トラヴェルソ)&アンソニー・ロマニウク(鍵盤)ライブ～	8月23日(土)	1	酒心館	150
第22回日本フルートコンヴェンション in KOBE 2025 ファイナルコンサート	8月24日(日)	1	神戸文化ホール(大)	500
第11回神戸国際フルートコンクール 第1次審査	8月29日(金)～9月2日(火)	4	神戸文化ホール(中)	150
第11回神戸国際フルートコンクール 第2次審査	9月4日(木)	1	神戸文化ホール(中)	120
第11回神戸国際フルートコンク第11回神戸国際フルートコンクール スペシャルナイト・ガラ	9月5日(金)	1	神戸文化ホール(大)	500
第11回神戸国際フルートコンクール出場者アウトリーチ	9月5日(金)	5	市内学校等	1,000
第11回神戸国際フルートコンクール 本選・表彰式	9月6日(土)	1	神戸文化ホール(中)	300
第11回神戸国際フルートコンクール 入賞者披露演奏会□	9月7日(日)	1	神戸文化ホール(中)	250
ストラディヴァリウス・コンサート2025 ティモシー・チューイ(ヴァイオリン)&上野通明(チェロ)	9月13日(土)	1	神戸文化ホール(中)	500
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム1	7月1日(火)	1	神戸文化ホール練習室	30
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム2	8月20日(水)	1	特別養護老人ホーム六甲の館	20
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム3	9月29日(月)	1	特別養護老人ホーム長田すみれ園	40
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム4	10月22日(水)	1	こべっこランド(神戸市立自動福祉センター)	20
高木綾子デビュー25周年記念リサイタル	2月7日(土)	1	神戸文化ホール(中)	500
		28	KOBE国際音楽祭事業合計	7,335

⑤ 情報発信

ア 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

両楽団について、専門人材のネットワーク・SNSを活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に取り組む。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体として戦略的広報を更に進める。

イ インターネットによる情報発信

X（エックス）やFacebook、Instagramなど多様なSNSを活用した情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

ウ 「神戸C情報」の発信

神戸を中心とした文化芸術イベント情報をウェブサイトやSNSで広く発信。相談窓口やアーティスト支援事業と連携し、文化芸術に関する情報プラットフォーム形成を目指す。

エ 文化ホール公演事業の情報発信強化

情報誌「ほーるめいと」において5年ぶりとなる誌面のリニューアルを実施して発行（15,000部／隔月）する。またメールマガジン、SNSでの発信や、ホームページの内容の充実など最新の動向を反映させながら機能向上を図る。

⑥ 神戸文化ホール貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

イ 事業内容

（ア）弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

貸館利用者のニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

（イ）施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに改善に努める。

（ウ）地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。メールでの事前受付により遠方利用者の利用を促進する。

（エ）基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。

また、キャッシュレス決済や、ホールでのインターネット環境を整備、スマートゲートの導入により利便性の高いサービスと設備を提供する。

(2) 新開地アートひろば

① 新開地アートひろば事業

ア 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

イ 事業内容

(ア) 創造発信・地域活性化・施設活用事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施する。

幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントのほか、てててパークを活用しアーティストやひろばスタッフのワークショップを実施することで地域の文化活動拠点を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」「月イチアーティスト・スタッフとあそぼ！」

(イ) アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行う。長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とする。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

(ウ) プログラム連携・構築事業

市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との連携プログラムの他、トライやるウィークや新開地周辺地域との連携プログラムの実施。

事業名：「Marching KOBE」「各種提携・共催事業（未定）」

(エ) その他

神戸市・新開地まちづくりNPO等の地域イベントの受入や協力を行い、地域活性化の取組を実施する。また、当館事業から生まれた「新開地舞踊歌劇団」の活動支援を行う。

事業名：「新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト」「土曜マルシェ」「新開地冬・夏まつり」

ウ 令和7年度 新開地アートひろば事業一覧

事業名		開催時期	会場(施設名)	入場者 (見込)
創造発信、地域活性化・施設活用事業				
1	ニューあそび場の創造Vol.14「南野詩恵シルクスクリーン企画」	4～6月	ギャラリー	2,000
2	ニューあそび場の創造Vol.15「新開地おばけひろば」	7～9月	ホール・ギャラリー他	5,000
3	ニューあそび場の創造Vol.16 toRmansion	10～12月	ホール他	3,000
4	ニューあそび場の創造Vol.17「湊川新開地ガイドブック改訂版」	1～3月	ギャラリー	2,000
5	月イチ(ワークショップ)	毎月1回	てててパーク	300
6	シルクスクリーン(ワークショップ)	年間4回	アトリエ	40
アーティスト育成・支援事業				
1	Go!Go!High SchoolProject2025	7～8月	ホール	240
2	アーティストサポートプログラム	通年	アトリエ	10
プログラム連携・ネットワーク構築事業				
1	Marching KOBE、トライやるウィークほか	通年	新開地アートひろば	10
2	各種提携・共催事業	通年	ホール	1,200
その他事業				
1	新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・音楽祭	5月	ホール	200
2	土曜マルシェ	毎月第2土曜日	1room	6,000
			合計	20,000

② 新開地アートひろば貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・利便性の向上と芸術文化活動への協力

イ 事業内容

(ア) 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整え、利用者のニーズに応えることで、また利用したいと思える安心感・快適性を提供する。また、幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制の整備により、安全性の確保を行う。

(イ) 市民の芸術文化活動の促進・誘致

前年に引き続き、アトリエ専門担当者の配置により、利用率の向上促進を継続する。また、リニューアルによる1階スペースの賑わいを、知名度の向上に結び付けることで、新規利用客の獲得に取り組む。

(ウ) 利便性の向上と芸術文化活動への協力

練習施設の予約のオンライン化を進め、施設利用の利便性を向上させる。また、職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献する。

(3) 各区文化センター

① 文化センター講座・地域関連事業

ア 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域関連事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・伝統文化の継承、発展に伴う事業を増やす
- ・文化センター、神戸文化ホールが連携した事業を推進。

イ 事業内容

(ア) 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座事業を、3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）で継続運営する。

(イ) 地域関連事業

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。

従来 of 伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、色彩豊かな事業展開を行っていく。

文化庁の補助事業に応募し、書の芸術祭やこども農村歌舞伎、須磨琴等、各地域で伝統文化親子教室事業と連携する。

ウ 令和7年度文化センター事業一覧

(単位：人)

事業名	開催場所	回数	入場者数
文化センター共通事業	神戸文化ホール	1	1,200
地域関連事業	東灘区文化センター	14	4,243
	灘区文化センター	4	1,463
	中央区文化センター	8	1,685
	兵庫区文化センター	3	545
	北区文化センター	4	974
	北神区文化センター	12	2,778
	長田区文化センター	6	1,530
	須磨区文化センター	14	2,257
	北須磨文化センター	4	1,000
	垂水区文化センター	7	2,400
	西区文化センター	24	7,974
合計		101	28,049

② 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

ア 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

イ 事業内容

各区文化センターにおいて、神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし 60 分以内の企画を継続する。定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

令和 7 年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
室内	セレクション Vol.7 「小菅優・最前線 in KOBE」	8/23	1	東灘区文化センター うはらホール	400
	セレクションVol.8 「変な!?ニューイヤーコンサート」	1/10	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	300
混声	あなたに贈るコンサート	4/29	1	中央区文化センター	102
		6/1	1	長田区文化センター別館 ビフレホール	180
		12/21	1	東灘区文化センター うはらホール	400
		1/17	1	西神中央ホール	400
自主公演合計					1,782

③ 文化振興事業

ア 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

イ 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」、神戸芸術相談窓口関連企画等を企画していく。

また、令和 9 年 9 月より開始される KOBE◆KATSU（コベカツ）について、文化芸術にかかる運営者・指導者育成支援のため、説明会や講習会を企画・実施する。

令和7年度文化振興課事業事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
こうべ文化芸術相談窓口 センター関連企画 （コンサート・ワークショップ等）	年度前半で公募 年度後半で実施	各文化センター	500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （神戸大会）	9/20	長田区文化センター別館 ピフレホール	150
神戸三曲協会独奏会	3/15	東灘区文化センター うはらホール	200
コベカツ説明会	6/17, 6/21	長田区文化センター別館 ピフレホール	214
コベカツ講師講習会	未定	未定	200
文化振興事業合計			1,264

④ 情報発信

チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。

⑤ 文化センター貸館・管理事業

ア 事業方針

- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する新貸館システム「あじさいネット」により利用者の利便性の向上につなげていく。

イ 事業内容

（ア）サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入
市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

（イ）地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

（ウ）積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

収益事業

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5	多目的室・特別控室 : 15 名～150 名
	自動販売機	: 7 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、充実したオープンスペースにより、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を行った。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ²
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 3 台

(3) 文化センター講座

スポーツなどの文化振興目的以外でニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例	講 座	健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
	自主事業	コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 33 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

法人運営全体に関わる事業

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的
に開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和３年度から、経験豊富な人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「神戸六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

（２）経営の安定化

事業部毎の独立採算・セグメント会計の観点から、経費の見直し、ICTの活用による業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得を行う。

平成３０年７月に地元経済界が立ち上げた「神戸文化マザーポータルクラブ」の事務局を担うことで、経済界からの芸術文化事業への支援を促進する。

3 経営改善の取り組み

令和3年1月に策定された神戸市の「神戸市文化芸術推進ビジョン」や神戸市が提示したミッションを踏まえ、当財団においても、令和4年度から令和8年度を計画期間とする「中期経営計画2026」を策定した。

令和10年度の開館に向け整備が進められている、新・神戸文化ホールの運営を担いうる実力を備えるため、本計画の着実な遂行とともに下記の経営改善を進めていく。

(1) 集客及び利用の促進

①公演等事業

令和7年度には、4年に1度開催される「第11回神戸国際フルートコンクール」を核とした「KOBE 国際音楽祭2025」を実施し、世界的アーティストや神戸出身または在住の音楽家を迎えてのコンサート等、国際色豊かで質の高い文化芸術を神戸から発信する。さらに、3年間にわたる神戸文化ホール開館50周年記念事業のラストイヤーを飾るにふさわしく、「人間讃歌」をテーマにした記念事業を実施する。

こうした取り組みにより、良質で特色のある芸術文化プログラムを市民に提供するという劇場法の趣旨を達成していく。

また、公演等の広報に関して、マスコミとの関係強化による公演情報の記事化等、経験豊富な人材を活用した戦略的広報を実施していく。

②新開地アートひろば

子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流できる場を目指し、令和5年度より神戸アートビレッジセンター(KAVC)が新開地アートひろばとしてリニューアルオープンした。

1階スペースを中心に施設を『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働し、体験から鑑賞まで様々な形で文化芸術を通じたあそびに触れることが出来る事業を実施することで、これまで以上に地域の人々をはじめ、気軽に立寄りやすい施設を目指す。

③貸館利用

文化センターにおいて、利用団体への営業活動を強化するなど利用率の向上に取り組む。

また、神戸文化ホールにおいて、舞台技術などに関する専門的かつ的確なアドバイスにより、利用者が行う舞台表現のレベル向上に貢献する等、利用者の満足度向上を図り、リピーター確保に繋げていく。

④新たな観客等の獲得

「神戸文化ホールウェルカムジャンボリー」や「こどもコンサート」等を実施し、子育て世帯等、日頃ホールに足を運ぶ機会が少ない、新たな観客が文化芸術に触れる機会を生み出す。

(2) 経営基盤の強化

①人材の養成

文化芸術分野の経験豊富な人材等を活用し、実践的な講座を活用した研修や他館と連携した事業を実施することで、財団職員の企画・制作力の向上に取り組む。

②外部資金の積極的獲得

財政基盤を安定させるため、文化庁を始めとする外部助成金の必要性が更に増している。また、民間団体の有する助成制度や企業協賛金など、多様な資金調達手段の開拓が不可欠である。経験豊富な人材の知見やネットワークも最大限活用し、外部資金の積極的な獲得に取り組む。

<中期経営計画 2026 に基づく具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）>

【神戸からの創造・発信を行う】

KPI	令和5年度より企画・政策及び発信型事業年1演目以上実施
	他館連携型の事業の企画・実施 年1回以上
	文化センター、新開地アートひろばで行われる公演のうち、その発展性を見込んで文化ホールでの開催に移行するものの選定 年1回以上
	相談窓口利用者の発展的活動展開 利用者の70%以上

【地域社会の絆をつなぐ】

KPI	公演におけるバリアフリーへの工夫 自主事業毎に1つ以上
	社会包摂型の自主事業 年に1回以上
	多文化共生を目指す自主・共催事業等 年に1回以上
	C 情報フォロー数1万人以上
	各文化センターにて地域文化活性化事業を実施 年3回以上
	講座参加者数20%増（対令和3年度比。講師主催講座含む。）

【くらしと芸術文化をつなぐ】

KPI	市民ネットモニターアンケート「過去1年間で芸術文化を鑑賞した人の割合（絵画・音楽・演劇・映画・ダンス等）80%以上
	敷居を下げた参加しやすい自主事業の企画、継続実施 年に5回以上
	異分野との連携による事業の企画・実施 年1回以上

【学ぶ、トライするを支える】

KPI	アートマネジメント人材養成事業への参加者 年100人以上
	新たな市民を呼び込む事業数 年30回以上
	講座参加者数20%増（再掲）
	市内小学生が実演芸術を経験する 小学校期間中に1回以上

【経営を安定化する】

KPI	助成金の新規申請及び獲得 毎年度新規1件以上増
	一般正味財産が必要とされる充当額を毎年度下回らない
	財政・経理に関する職員研修 毎年度1回以上
	常勤役員を除く、課長級以上の市出向職員の比率40%以下

4 令和7年度予算

(1) 事業別収支予算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 千円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
公益目的事業会計	2,239,261	公益目的事業会計	2,278,303
文化振興事業収入	56,831	文化振興事業支出	52,925
演奏事業関係収入	256,786	演奏事業関係支出	257,694
フルートコンクール事業収入	97,589	フルートコンクール事業支出	97,961
文化ホール公演事業収入	87,517	文化ホール公演事業支出	94,900
文化ホール貸館・管理事業収入	291,942	文化ホール貸館・管理事業支出	327,366
新開地アートひろば公演事業収入	11,500	新開地アートひろば公演事業支出	11,500
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	147,942	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	151,912
文化センター講座等事業収入	379,673	文化センター講座等事業支出	356,014
文化センター貸館・管理事業収入	898,556	文化センター貸館・管理事業支出	893,539
50周年記念事業収入	10,925	50周年記念事業支出	34,492
収益事業等会計	694,770	収益事業等会計	675,329
文化ホール貸館・管理事業収入	54,371	文化ホール貸館・管理事業支出	60,968
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	6,489	新開地アートひろば貸館・管理事業支出	4,666
文化センター講座等事業収入	179,258	文化センター講座等事業支出	165,601
文化センター貸館・管理事業収入	454,652	文化センター貸館・管理支出	444,094
法人会計	109,139	法人会計	128,208
財団管理運営事業収入	108,139	財団管理運営事業支出	127,208
新ホール受託準備事業収入	1,000	新ホール受託準備事業支出	1,000
当期収入合計 (A)	3,043,170	当期支出合計 (B)	3,081,840
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 38,670

* 神戸市からの収入
 (1) 補助金 412,024千円
 (2) 受託料 1,330,190千円

(2) 予定正味財産増減計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	334	
文化事業収益	654,857	
文化施設等運営収益	0	
文化事業受託収益	12,500	
管理受託収益	1,355,994	
施設利用料金収益	555,556	
受取補助金等	458,039	
受取寄付金	0	
受取利息	0	
雑収入	5,890	
経常収益計		3,043,170
(2) 経常費用		
事業費	2,954,632	
管理費	125,144	
経常費用計		3,079,776
当期経常増減額		△ 36,606
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 36,606
法人税、住民税及び事業税		2,064
当期一般正味財産増減額		△ 38,670
一般正味財産期首残高		96,942
一般正味財産期末残高		58,272
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		△ 38,670
正味財産期首残高		296,942
III 正味財産期末残高		258,272

(3) 予定貸借対照表

(令和8年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,828	未払金	312,212
預金	414,071	前受金	163,315
未収金	88,205	預り金	15,032
前払金	3,101	賞与引当金	26,189
預け金	26	流動負債合計	516,748
流動資産合計	509,231		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	15,578
預金	518	固定負債合計	15,578
定期預金	6,910	負債合計	532,326
投資有価証券	209,482		
基本財産合計	216,910	III 正味財産の部	
(2) 特定資産		1. 指定正味財産	
退職給付引当資産	15,578	基本財産	200,000
特定費用準備資金	15,000	指定正味財産合計	200,000
特定資産合計	30,578		
(3) その他固定資産		(うち基本財産への充当額)	(200,000)
什器備品	1,293	2. 一般正味財産	58,272
保証金	32,586	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
その他固定資産合計	33,879	(うち特定資産への充当額)	(15,000)
固定資産合計	281,367	正味財産合計	258,272
資産合計	790,598	負債及び正味財産合計	790,598

(4) 事業別予定収入明細書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	内 訳							
		事業収入	事業受託収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,239,261	475,442	12,500	986,102	310,109	46,015	409,093	0	0
文化振興事業収入	56,831	2,050	12,500	0	42,281	0	0	0	0
演奏事業関係収入	256,786	44,950	0	0	188,789	23,047	0	0	0
フルートコンクール事業収入	97,589	17,110	0	0	65,979	14,500	0	0	0
文化ホール公演事業収入	87,517	22,357	0	47,600	13,060	4,500	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	291,942	843	0	128,400	0	0	162,699	0	0
新開地アートひろば公演事業収入	11,500	1,500	0	10,000	0	0	0	0	0
新開地アートひろば貸館・管理事業収入	147,942	0	0	134,110	0	0	13,832	0	0
文化センター講座等事業収入	379,673	377,257	0		0	2,416	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	898,556	0	0	665,992	0	2	232,562		0
50周年記念事業収入	10,925	9,375	0	0		1,550	0	0	0
収益事業等会計	694,770	179,415	0	368,892	0	0	146,463	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	54,371	157	0	23,913	0	0	30,301	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	6,489	0	0	5,636	0	0	853	0	0
文化センター講座等事業収入	179,258	179,258	0	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	454,652	0	0	339,343	0	0	115,309	0	0
法人会計	109,139	0	0	1,000	101,915	0	0	0	6,224
財団管理運営事業収入	108,139	0	0	0	101,915	0	0	0	6,224
新ホール受託準備事業	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0	0
合 計	3,043,170	654,857	12,500	1,355,994	412,024	46,015	555,556	0	6,224

(5) 事業別予定支出明細書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日, 単位: 千円)

科 目		合 計	内 訳	
			人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計		2, 278, 303	367, 528	1, 910, 775
	文化振興事業支出	52, 925	37, 106	15, 819
	演奏事業関係支出	257, 694	58, 142	199, 552
	フルートコンクール事業支出	97, 961	15, 388	82, 573
	文化ホール関係支出	422, 266	78, 465	343, 801
	新開地アートひろば関係支出	163, 412	56, 426	106, 986
	文化センター関係支出	1, 249, 553	122, 001	1, 127, 552
	50周年記念事業支出	34, 492	0	34, 492
収益事業等会計		675, 329	69, 660	605, 669
	文化ホール関係支出	60, 968	7, 528	53, 440
	新開地アートひろば関係支出	4, 666	1, 733	2, 933
	文化センター関係支出	609, 695	60, 399	549, 296
法人会計		128, 208	71, 073	57, 135
	財団管理運営事業支出	127, 208	71, 073	56, 135
	新ホール受託準備事業	1, 000	0	1, 000
合 計		3, 081, 840	508, 261	2, 573, 579

Ⅵ 令和6年度主要事業計画・実績比較表

文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区文化センター	3,600	4,082	482
灘区文化センター	5,700	6,349	649
中央区文化センター	160	186	26
兵庫区文化センター	4,000	4,505	505
北区文化センター	3,200	3,618	418
北神区文化センター	4,700	5,249	549
長田区文化センター	5,300	5,995	695
須磨区文化センター	2,300	2,664	364
北須磨文化センター	4,600	5,121	521
垂水区文化センター	5,400	6,045	645
西区文化センター	7,200	8,062	862
計	46,160	51,876	5,716

芸術文化事業

事業名		入場者数（人）		
		計画	実績	増減
文化振興事業		28,969	27,149	△ 1,820
	音楽事業	25,250	23,139	△ 2,111
	演劇・舞踊事業等	3,219	3,272	53
	その他	500	738	597
演奏事業		25,900	46,471	20,571
	室内管弦楽団公演	3,500	15,654	12,154
	混声合唱団公演	10,250	14,533	4,283
	合同公演	12,150	16,284	4,134
フルートコンクール事業		1,090	1,437	347
神戸文化ホール事業		27,404	27,633	229
	創造発信・情報事業	6,000	5,606	△ 394
	普及啓発・交流事業	20,850	21,380	530
	育成・支援事業	554	647	93
新開地アートひろば事業		19,855	26,614	6,759
	創造発信・地域活性化・施設活用事業	14,200	17,139	2,939
	アーティスト育成・支援事業	255	260	5
	連携・ネットワーク・その他事業	5,400	9,215	3,815

施設毎入場者

（人）

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール（練習室含む）	300,000	362,117	62,117
新開地アートひろば ※～R4は神戸アートビレッジセンター	155,000	194,449	39,449
文化センター	1,585,000	1,581,919	△ 3,081

VII 主要事業の推移(令和2年度～令和6年度)

文化センター講座事業 (講座受講者数)

施 設 名	受講者数 (人)					
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
東灘区文化センター	1,464	3,214	3,392	3,770	4,082	108.3%
灘区文化センター	2,340	5,543	5,468	6,064	6,349	104.7%
葺合文化センター	13	62	—	—	—	—
生田文化会館	28	64	—	—	—	—
中央区文化センター	—	—	242	229	186	81.2%
兵庫区文化センター	2,027	4,608	4,755	4,807	4,505	93.7%
北区文化センター	1,776	3,814	3,698	3,696	3,618	97.9%
北神区文化センター	1,806	4,417	4,872	5,015	5,249	104.7%
長田区文化センター	2,667	5,665	5,757	5,895	5,995	101.7%
須磨区文化センター	873	2,501	2,475	2,646	2,664	100.7%
北須磨文化センター	1,225	5,357	5,766	4,953	5,121	103.4%
垂水区文化センター	3,298	6,997	5,749	5,869	6,045	103.0%
西区民センター	3,402	7,547	7,494	8,170	8,062	98.7%
計	20,919	49,789	49,668	51,114	51,876	101.5%

芸術文化事業

事 業 名		入場者数 (人)					
		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
文化振興事業		3,636	10,053	17,106	30,293	27,149	89.6%
	音楽事業	3,285	9,470	13,936	26,707	23,139	86.6%
	演劇・舞踊事業等	351	583	2,770	2,989	3,272	109.5%
	その他	—	—	400	597	738	123.6%
演奏事業		6,097	5,856	39,120	35,947	46,471	129.3%
	室内管弦楽団公演	4,066	3,047	6,569	5,842	15,654	268.0%
	混声合唱団公演	1,098	1,773	16,257	14,645	14,533	99.2%
	合同公演	933	1,036	16,294	15,460	16,284	105.3%
フルートコンクール事業 ※1		—	—	—	—	1,437	—
神戸文化ホール事業		7,465	18,862	15,525	25,675	27,633	107.6%
	創造発信・情報事業	6,628	13,189	3,960	6,054	5,606	92.6%
	普及啓発・交流事業	180	1,338	2,014	14,733	21,380	145.1%
	育成・支援事業	657	4,335	9,551	4,888	647	13.2%
新開地アートひろば ※2		22,804	23,134	7,505	43,616	26,614	61.0%
	創造発信・地域活性化・施設活用事業				32,190	17,139	53.2%
	アーティスト育成・支援事業				231	260	112.6%
	連携・ネットワーク・その他事業				11,195	9,215	82.3%

※1 フルートコンクール事業について、R4～R5年度は文化ホール事業、R3年度以前は文化振興事業として計上。

※2 R4年度までは「神戸アートビレッジセンター」として運営しており、事業が異なるため合計入場者数のみ記載。

施設毎入場者数

(人)

施 設 名	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	
	実績	実績	実績	実績	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習室含む)	77,994	178,600	296,132	344,787	362,117	105.0%
新開地アートひろば ※～R4は神戸アートビレッジセンター	73,998	109,098	78,933	172,578	194,449	112.7%
文化センター	1,067,735	1,618,372	2,042,397	1,549,534	1,581,919	102.1%